

いずみさの子ども未来総合計画
(第2期泉佐野市子ども・子育て支援事業計画)
(泉佐野市次世代育成支援行動計画)
PDCAサイクル 進捗管理シート

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	ファミリー・サポート・センター事業
施策・事業概要・今後の方向	「子育てを手伝ってほしい人」（利用会員）と「子育ての手助けができる人」（提供会員）が会員登録し、お互いに支え合う相互援助活動の橋渡しを行います。事業の周知を図り、利用促進に努めるとともに、提供会員に対する研修の実施など組織の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	380	380	380	380	380
		実績値	190	196	272	325	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
計画値							
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	ホームページなどの広報やチラシの配布・掲示等により事業の周知を図ったことにより利用会員及び提供会員数は増加していますが、利用者数は計画値を下回っています。				
	C	提供会員養成講座を12月に開催し、提供会員の確保を図るとともに、提供会員に対するフォローアップ研修を実施し、提供会員の資質の向上を図ることができました。					
		（参考） 令和4年度 会員数 337人 （利用会員272人、提供会員55人、両方会員10人） 令和5年度 会員数 394人 （利用会員325人、提供会員58人、両方会員11人）					
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】						
	ホームページなどの広報やチラシの配布・掲示等により事業の周知を図り、会員（利用会員・提供会員）確保に努めます。 また、養成講座やフォローアップ研修の開催により提供会員の確保・資質の向上を図ります。						

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）
施策・事業の概要・今後の方向	保護者の心身の不調や病気療養をはじめ冠婚葬祭等社会的な事由で緊急一時的に子どもを保護する事業です。 事業の周知を図り、サービスを必要とする方への利用促進に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人日） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	15	15	15	15	15
		実績値	6	11	10	8	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 事業内容の周知を図り、サービスを必要とする方への利用促進を図りましたが、利用者数は計画値を下回りました。 令和5年度利用延べ児童数 ショートステイ 8件（相談件数9件） トワイライトステイ 利用なし				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、サービスを必要とする方へ利用促進を図ります。令和6年度からは1人の児童につき年度中利用の合計を14日以内とし、新規の方が利用しやすいようにしました。近年はレスパイトによる相談が増加しており、他のサービスの併用も案内できるよう改善していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
施策・事業名	一時預かり(一時保育) 事業							
施策・事業概要・今後の方向	保護者の急用や病気等の際に、緊急的保育サービスとして一時的に児童を認定こども園・保育園及びファミリー・サポート・センターで預かる事業です。サービスを必要とする方が利用できるよう、受入れ枠を確保します							
計画(P)↓実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数(人日) ※子ども・子育て支援事業計画						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	1,587	1,566	1,551	1,553	1,522	
		実績値	768	459	1,180	1,623		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園・保育園全園(14園)及びファミリー・サポート・センターで実施しており、延べ1,623人が利用しました。 特にファミリー・サポート・センターの利用者数が大幅に増加したことにより、計画値を上回りました。(令和4年度407人→令和5年度956人) サービス利用を必要とする方に対する供給量は確保できています。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 必要とする方が利用できるよう、受け入れ枠を確保していきます。				

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
施策・事業名	家庭支援推進保育所事業							
施策・事業概要・今後の方向	家庭支援推進保育所事業の対象保育園において、配慮を要する児童への家庭訪問や在宅の子育て家庭への訪問等を実施しており、継続して実施します。							
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：支援家庭数（世帯／年）						
		（計画値：平成30年度・31年度の平均値）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	107	107	107	107	107	
		実績値	101	102	99	103		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園（民営化園）2園及び保育園（民営化園）1園で実施しており、103人の家庭への支援を行いました。			
				B				
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 配慮を要する児童の家庭や在宅の子育て家庭への支援を継続して実施します。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
施策・事業名	私立幼稚園・認定こども園（1号）の3歳児保育							
施策・事業の概要・今後の方向	子どもにとって最初の学校である私立幼稚園・認定こども園（1号）において、3歳児保育を実施しています。3歳児の発達の特徴を踏まえ、基本的な生活習慣を育むと共に、健康・運動・言語・音楽・美術など色々な領域において、充実に努めます。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 3歳児の発達段階に応じて、基本的な生活習慣を育むと共に、健康・運動・言語・音楽・美術など色々な領域において、十分に効果を上げたと考えています。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 前年度と同様に、より一層の3歳児保育の充実に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課
----------	-----	--------

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	私立幼稚園の満3歳児保育
施策・事業概要・今後の方向	4月1日付けで満2歳の幼児が満3歳になった段階で私立幼稚園に入園することができます。満3歳児に対して、早期の集団教育の必要性が増す中、社会性を身につけていくことを目的として、継続実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 B	少子化により、地域に同年代の子どもが減少している実態に鑑み、満3歳児に対して、早期の集団教育の必要性が増す中、子どもにとって最初の学校である幼稚園において、満3歳児保育を実施し、十分に効果を上げたと考えています。 満3歳児が一つ上のお兄さんお姉さんと触れ合うことによって、随分と自立し、何事も自分でやってみるというやる気・積極性を身につけたのはとても嬉しいことでした。また相手の話を聞く際の集中力をつけることができたのも有意義なことでした。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		前年度と同様、色々な物事に対する美的感受性を身につけ、豊かな情操を育むとともに、やる気・積極性を身につけることができるよう満3歳児保育を実施していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標		地域における子育て支援の推進							
施策の方向		地域における子育て支援サービスの充実							
施策・事業名		私立幼稚園・認定こども園（1号）の預かり保育							
施策・事業の概要・今後の方		私立幼稚園・認定こども園（1号）では、正課の教育時間の後に「預かり保育」を実施し、園児の健全な育成を図るとともに、保護者の就労等の支援を含めた子育て支援を行っています。 必要とされるサービス量を確保し、園児の健全な育成を図ります。							
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：私立幼稚園在園児利用者数（人日） ※子ども・子育て支援事業計画							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	17,099	16,368	16,044	15,892	15,937		
		実績値	12,606	14,450	15,298	18,161			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	就労している保護者が増え、利用者数が増加しましたが、各幼稚園での受入れ体制は整っており、サービス提供量は確保できていました。				
				B	※参考（私立幼稚園の状況） （安松幼稚園） 通常の保育日においては、運動会等の行事日を除いて午後7時までの預かり保育を実施しました。働くお母さんや、お家の方の介護などの手助けに大きく寄与できました。 （カトリック天使幼稚園） 保護者の就労者が増え、預かり保育利用者も増えています。ほとんどの方が時間を長く利用し有意義に預かりのクラスを楽しんでいます。				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
前年度と同様、働くお母さんの応援や色々な家庭の事情のある保護者の支援に努めます。									
※参考（私立幼稚園の状況） （安松幼稚園） 引き続き午後7時まで預かり保育を実施し、働くお母さんの応援や、色々な家庭の事情のある保護者の手助けを行います。預かる児に関しても、しっかりと見守り、家庭的なリラックスした雰囲気の中で、友人関係を含め対人的な社会的な関係を結び能力を育てると共に、物事に対するやる気を育て、各分野における興味・能力を引き出したいと思います。 （カトリック天使幼稚園） 今年度は保護者のお迎えを考え入り口近いところにお部屋を変えました。又、直ぐに連絡できるようインターホンを取り付けました。例年通り安全面及び衛生面をしっかりと行い、園児はもちろん保護者の方にも不安がないように取り組んでいきます。									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の推進	
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実	
施策・事業名	私立幼稚園の長期休業中の預かり保育	
施策・事業の概要・今後の方向	私立幼稚園では、長期休業中においても「預かり保育」を実施し、園児の健全な育成を図るとともに、保護者の就労等の支援を含めた子育て支援を行っています。必要とされるサービス量を確保し、園児の健全な育成を図ります。	
計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：私立幼稚園在園児利用者数（人日） ※子ども・子育て支援事業計画
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】
		担当課評価
		B
		※参考（私立幼稚園の状況） （安松幼稚園） 春・夏・冬休みなどの長期休暇中も、午前8時から午後7時までの預かり保育を実施しました。フルタイムで働かれているお母さんも数多くいらっしゃいます。ご両親がフルタイムで働かれていても、お子さんの幼稚園通園は可能となっています。 （カトリック天使幼稚園） 暑さ対策を行い、園庭の遊びを実施しました。広いホールでの遊びを中心に時間を有効に利用しました。
		【令和6年度における取り組みなど】
		前年度と同様、長期休業中の預かり保育の充実に努めます。
		※参考（私立幼稚園の状況） （安松幼稚園） 引き続き午前8時から午後7時までの預かり保育を実施します。長時間にわたる預かり保育ですので、カリキュラムも工夫し、変化に富む内容とします。例えば、夏休みの預かり保育では、6基のスプリングラが設置されている200坪の芝生運動場での水遊びなど、児たちの心に残る遊びなどを取り入れています。 （カトリック天使幼稚園） コロナも緩和されいろいろな遊びを制限なく出来るよう努めます。また、利用者の増加が予想されるため、夏の水遊びなども取り入れたいです。
		改善（A）

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	特別支援教育
施策・事業の概要・今後の方向	「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児・児童・生徒の支援が求められています。私立幼稚園では、多様な障害（自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、知的障害、言語障害等）のある園児に対して、きめ細かな指導を行っています。専門医と連絡を取りながら、子ども一人ひとりがそれぞれの障害を乗り越え、様々な能力の獲得をめざしながら、先生や他の園児との交流を通じて楽しい幼稚園生活を送ることが必要であり、また、保護者の悩みや相談に応じるとともに、必要な支援を行い、今後も事業を継続実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
計画値							
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	（安松幼稚園） 多くのお母さん・お父さんの相談にのり、一緒に悩み、一緒に喜ぶなど、色々な問題点を解決するように努めてきました。本人の特性を理解し、本人の気持ちを一旦受け止め、生きる喜びを感じられるような関わり・指導を心掛けています。先ずは、幼稚園が楽しい、幼稚園に行きたいという気持ちを自然ともつような指導を心掛けています。日常生活の中で成功体験をたくさんさせて、自信を積み重ね、自己肯定感を少しでも高めていきたいと考えています。小学校に入る年齢までに、幼児がどれだけコミュニケーション可能な言語能力を獲得できるかが、将来を大きく左右するという意識・覚悟をもって児と接しています。				
		B	（カトリック天使幼稚園） 令和4年度から引き続き子育て支援課の協力のもと、園内での園児の様子を見ていただき、園児への対応や保護者の方への対応方法等を指導いただきました。研修等への参加も積極的に行いました。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 （安松幼稚園） 従来と全く同じ方針で取り組んでいきます。 加配の先生が付くことによって、配慮を必要とする児にも、他の園児と同様の経験を与えていきます。「失敗してもいい。経験こそが重要。」という考えに立ち、加配の先生の手助けを借り、様々な経験を積むことは、将来の発達につながっていくだろうと確信し、多くの時間と根気をかけながら児と一緒に笑い悩みまた楽しく生活しています。 （カトリック天使幼稚園） 今年度も年少児・年中児の特別支援対象児が多くいます。特に年中児は昨年度からクラスに2名職員をつけ気を配りながら保育をしています。研修や子育て支援の方との話しを交えながら接する事が出来たらと思います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

社会福祉協議会・地域共生推進課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	民生委員児童委員（主任児童委員）活動の活性化
施策・事業の概要・今後の方向	地域の身近な相談窓口である民生委員児童委員（主任児童委員）活動について、地域住民や福祉関係者の理解を深めるため、活動内容の普及・啓発を行い、活動の活性化を図ります。 また、地域住民の個別ニーズや課題が複雑・多様化する中、負担感による担い手が不足していることから、担い手の確保に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：民生委員児童委員の委嘱率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	93.30	94.55	95.76	96.97	98.19
		実績値	92.12	93.33	89.69	89.69	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和4年12月1日付での民生委員・児童委員の一斉改選によって退任した民生委員・児童委員の数が多く、また担い手不足により新たに選出された民生委員・児童委員の数が少なかったため、全体の数としては減少しました。民生委員・児童委員の年間訪問活動回数においては前年度から微増であり、その他の活動件数も全体的に増加しており、全体的な民生委員・児童委員の活動日数は増加しています。				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 民生委員児童委員の担い手を確保するため、広報誌などで活動内容の普及啓発を行います。各種研修会への参加や開催をし、身近な相談・支援者としての資質向上に努めます。民生委員・児童委員を補佐する民生委員協力員設置要綱を制定し、民生委員・児童委員の負担軽減を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	学校・園における相談体制の充実
施策・事業の概要・今後の方向	学校においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門的な相談員による相談事業を実施し、子どもたちや保護者が心の悩みを気軽に相談できる機会の充実に努めます。いじめ、不登校などの悩みに関する相談に応じ、その解消を図るため、教育支援教室、教育相談などの事業の充実に努めます。 幼稚園・認定こども園・保育園においては、子育て支援として実施している園庭開放や遊びの教室などの際に、子育てに関する悩みや相談に応じ、負担感の解消に引き続き努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：こども園（公立）の子育て支援事業における相談件数（件／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	172	163	154	146	138
		実績値	46	22	59	87	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					

令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】	
		担当課 評価	（学校教育課） 心理の専門家であるスクールカウンセラーだけでなく、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを各中学校区に配置することにより、子どもはもちろん、保護者の様々なニーズにも対応した相談が可能になっている。
		（学校教育課） B	（子育て支援課） 地域における子育て支援として実施している園庭開放や遊びの教室などの際に、子育てに関する悩みや相談に応じ、負担感の解消に努めました。
		（子育て支援課） C	件数が多かった相談内容は、入園・入所に関すること（15件）、食事（離乳食）に関すること（14件）でした。 前年度と比べると相談件数は増加しているものの、計画値は下回りました。

令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】	
		（学校教育課） スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを中学校区に配置し、小中学校を巡回することにより児童・生徒及び保護者が相談しやすい体制を引き続きつくります。教職員とSC・SSW等の専門家がより連携し、いじめ、不登校、児童虐待等の問題の未然防止や重篤化防止、早期発見・早期解決に努めます。 （子育て支援課） 園庭開放や遊びの教室などの子育て支援事業を通じて、子育てに関する悩みや相談に応じ、子育て世帯の負担感の解消に努めます。	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		地域における子育て支援サービスの充実					
施策・事業名		育児相談員・スマイルサポーター（地域貢献支援員）による育児相談					
施策・事業概要・今後の方向		私立認定こども園・保育園では、大阪府認定の育児相談員や大阪府知事認定のスマイルサポーター（地域貢献支援員）を配置し、子育てに関連する様々な悩みや相談に応じています。 子育て中の保護者の負担軽減を図るため、継続実施します。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：私立認定こども園・保育園における相談件数（件／年） （計画値：平成27年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,061	1,061	1,061	1,061	1,061
		実績値	753	696	605	689	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園及び保育園全園（14園）で実施しており、689件の子育てに関する相談がありました。		
				C			
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も引き続き、子育てに関する様々な悩みや相談に応じていくよう努めます。事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから目標値の再検討が必要です。			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		地域における子育て支援サービスの充実						
施策・事業名		子育て教育相談						
施策・事業の概要・今後の方向		私立幼稚園において、就園前及び卒園後の小・中・高校生までの子育て教育相談を実施しており、事業の充実に努めます。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：就学前の個別の就学相談件数（件／年） （計画値：1カ月あたり2件）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	24	24	24	24	24	
		実績値	26	18	23	22		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	多くの市町村に在住の方から、乳幼児にかかわらず、小・中・高校生の教育相談、家庭相談がありました。心配事を口に出すことで、また何らかの解決策を提示されることで、安心された方が多くいました。小学校におけるいじめ等の相談にも対応しました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も入園前の相談はもちろん、卒園後の相談にも対応していきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	子ども家庭総合支援拠点の設置
施策・事業概要・今後の方向	子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般からより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを行う機能を担う拠点を設置運営します。子どもに関わる関係機関の総合調整を行い、個々のニーズや家庭の状況に応じた支援を行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	担当課としては設置の必要性を認識し、人員体制を検討し、体制所管課（政策推進課）とも協議していますが設置には至っていません。				
		E					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		全ての妊産婦・子育て世帯を対象に、児童福祉（子ども家庭総合支援拠点）と母子保健（子育て世代包括支援センター）の一体的支援を行う機能を有する「こども家庭センター」を令和6年4月に設置を行いました。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	家庭児童相談室の充実
施策・事業の概要・今後の方向	子育て支援課内に家庭児童相談室を設置し、相談員が子どもと家庭に関する相談に応じています。 相談件数が急増し、内容も複雑化・深刻化している現状を踏まえ、相談員の研修の機会を確保するとともに、関係機関との連携の強化を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：家庭児童相談室における相談件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12,800	15,200	18,000	21,400	25,500
		実績値	14,098	13,858	11,103	10,314	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	子どもの見守りネットワークの調整機関として要保護児童対策地域協議会との連携を図り、児童虐待の未然防止、早期発見及び発生予防に取り組みました。 個別ケース会議などは必要性を考え、感染予防に努め、会議を開催しました。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		児童福祉法等の一部を改正する法律が成立し、令和6年4月から施行されたことにより、「泉佐野市こどもを守る児童虐待防止マニュアル（第七版）」を改訂予定です。 家庭児童相談室の相談件数が減少傾向に転じましたが、相談内容についても不安を抱える保護者や特定妊婦の対応など複雑多様化しています。 引き続き相談員のスキルアップ向上のため、外部のスーパーバイザーを導入するなど、相談員の研修機会を確保するとともに、各関係機関との緊密な連携強化に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実							
施策・事業名	教育相談事業の充実							
施策・事業の概要・今後の方向	教育相談の担当者に対する研修の充実を図り、複雑かつ多様化する児童・生徒、青少年問題の相談に対応できるよう努めます。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 複雑かつ多様化する児童・生徒、青少年問題の相談に対応できるよう、教育相談担当者に対する研修と、関係機関が連携して取組みを進めていけるよう体制の構築をさらに進めることができました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 市内生徒指導委員会及び不登校対策サポート委員会等を定期的に関催し、他機関とも連携して、いじめ・不登校・児童虐待・教育相談にかかる研修等の充実を図ります。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	スクールカウンセラー
施策・事業概要・今後の方向	児童・生徒へのカウンセリング、教職員及び保護者に対する助言・援助を行うことにより、児童・生徒の問題行動等の解決に努めます。 また、生徒の指導体制の充実も図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：スクールカウンセラーの配置人数（小学校）（人）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	4	4
		実績値	3	3	3	4	
		②指標：スクールカウンセラーの配置人数（中学校）（人）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	4	4
		実績値	3	3	3	4	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	計画値						
	実績値						
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	全小中学校にスクールカウンセラーが関わっています。 児童・生徒のカウンセリングのみならず、保護者や教職員の心理面等にかかる相談 に対しても、助言・援助を行いました。さらに学校に対してのコンサルテーション も進んでいます。 また、教職員研修などでこども理解に関する講演を行いました。社会の状況や家庭 等、子どもを取りまく状況の複雑化、多様化により、依然としてカウンセリングの ニーズは年々増加しています。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
個々のカウンセリングにとどまらず、学校の生徒指導体制の中にスクールカウンセラーを組み 込み、ケース会議等にも参加して、心理の専門家としての助言を引き続き行います。 なお、府の事業で本年度より全小中学校にカウンセラーが配置されているので、活用をより推 進します。 スクールソーシャルワーカー等、多職種連携を進め、より効果的に機能するよう努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		地域における子育て支援サービスの充実						
施策・事業名		スクールソーシャルワーカー						
施策・事業の概要・今後の方向		いじめ・不登校・暴力行為・児童虐待等の生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行います。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：スクールソーシャルワーカーの対応件数（小中学校）（件）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	-	-	-	-	1500	
		実績値	829	1192	1948	1258		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	【令和5年度評価】 全小中学校にスクールソーシャルワーカーが関わっています。 社会福祉の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を引き続き行いました。ワーカーの働きかけで、家庭環境の改善、不登校の解消、ケースの深刻化の防止につながりました。その中で、関係機関と学校との連携が進みました。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 校区のチーム支援体制の中にスクールソーシャルワーカーを組み込み、ケース会議等にも福祉的視点でのアセスメントを行います。 スクールカウンセラーやさまざまな機関と多職種連携を進め、より効果的に機能するよう努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	障害教育推進事業の充実
施策・事業概要・今後の方向	各支援学校と連携しながら、就学相談を実施しています。子育て支援課、健康推進課等関係機関と連携し、早い段階での情報提供により、よりきめ細やかな発達相談体制の充実をめざします。小学校1年生対象の巡回相談も継続します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：小学校1年生対象の巡回相談実施校数（校／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	13	13	13	13	13
		実績値	12	12	12	13	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 就学にあたって、不安や相談がある保護者を対象に就学相談全体会を6月に実施。また、園・学校・市教委・保護者の四者による小学校就学前の個別の就学相談を103件実施しました。				
		B	就学前に丁寧な情報共有を行い、個に応じた学びの場を検討することによって、スムーズな就学につなげることができました。また、小学校1年生対象の巡回相談を13校において実施し、サポートの必要な児童の早期発見、早期支援に努めました。				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度も就学相談全体会を開催し、岸和田支援学校、泉南支援学校と連携し、個に応じた学びの場の設定のために、就学についての適切な情報提供を行います。また、子育て支援課やこども家庭課等の関係機関と連携し、保護者への就学についての事前の情報提供を行います。小学校就学前の個別の就学相談においては、園での活動の様子を参観し、園・学校・市教委・保護者が子どもの情報を共有することによって、小学校へ入学した後の学校生活についての見直しをもてるように実態把握を行います。また、子育て支援課やこども家庭課等とも情報を共有し、適切な学びの場の検討を行います。 また、入学後も小学校1年生を対象とした巡回相談を引き続き実施し、児童への適切なサポートができるように努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

地域共生推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	利用者支援事業
施策・事業の概要・今後の方向	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談に応じています。今後は、より身近な場所である生活圏域（中学校区）での子育て等の悩みを相談できる窓口を設置し、関係機関との連絡調整、連携、協働の体制づくり等を推進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者支援事業実施箇所数（か所）※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6	6	6	6	6
		実績値	6	6	6	6	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談に応じています。				
		B	令和2年度上半期よりお住まいの地域の包括支援センターにおいて、子育てに関する相談等の悩みを相談できる窓口を設置し、関係機関との連絡調整、連携、協働を行っています。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		関係機関との連絡調整、連携、協働を行い、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談などの適切な支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		地域における子育て支援サービスの充実						
施策・事業名		情報ガイドブック（「子育てのしおり」）						
施策・事業概要の方向		保健・医療・福祉・教育等の各分野で実施している子育て支援に関する事業などの情報を取りまとめたガイドブック「子育てのしおり」を作成しています。 制度改正等による改訂版を随時発行し、子育てに関する最新情報を提供します。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 1,400部作成し、子育て支援課と健康推進課から市民の方に配付し、子育てに関する情報を周知しました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 昨年同様に取り組み、子育てに関する情報の周知に引き続き努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	地域における子育て支援サービスの充実
施策・事業名	子育てポータルサイト（「子育て応援ナビ」）
施策・事業の概要・今後の方向	ホームページ上に子育て家庭向けのポータルサイト「子育て応援ナビ」を設け、また、子育て支援課のFacebookを開設することにより、子育て支援にかかる制度や手続きの案内等、必要な情報を適宜更新し、最新情報を提供しています。 子育てに関する情報をいつでも、どこでも必要な時に必要な情報を入手できるよう、内容を充実し、情報提供します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：Facebookへの掲載件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	50	60	60	60	60
		実績値	61	58	62	32	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	ポータルサイト「子育て応援ナビ」にて子育て支援にかかる制度や手続きの案内等、子育て家庭にとって必要な情報を適宜更新し、最新の情報提供に努めました。また、市民の方へ周知する情報を随時Facebookに投稿し、周知に努めました。令和4年度までは、新型コロナウイルス関連の投稿が多かったため、コロナ禍が明けた令和5年度は投稿数が減少しました。				
		C					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 昨年同様に取り組み、子育てに関する情報の周知に引き続き努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	通常保育事業
施策・事業の概要・今後の方向	保護者の就労、病気等の理由により、家庭で保育することができない児童を、保護者に代わり保育園、認定こども園等において保育を行う事業です。 待機児童を出さないよう定員枠を確保します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：4月時点待機児童数（人）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	毎年10月から11月にかけて各園に出向いて翌年度の入所の一斉申込受付を行い、途中入所については、毎月入所調整を行っています。待機児童は4月時点では0人でした。				
		B	公立	利用定員 465人	入所児童 470人		
			私立	利用定員1,897人	入所児童1,820人		
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
引き続き待機児童を出さないよう利用支援・調整に努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	乳児保育
施策・事業概要・今後の方向	産休明け（8週）以上1歳未満の乳児を預かる事業です。 待機児童を出さないよう定員枠を確保します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：4月時点待機児童数（人）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	待機児童は4月時点では0人でした。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
引き続き待機児童を出さないよう利用支援・調整に努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	障害児保育
施策・事業概要 の 今 後 の 方 向	心身に障害のある児童に対し、集団保育を行うことにより、障害の軽減及び発達の援助を目的として保育を行う事業です。 児童それぞれの個性を尊重し、一人ひとりの障害や能力に応じた保育を行うため、研修等による保育士の資質向上を図り、保育内容の充実を図ります。また、障害児保育の実施先の確保に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：障害児保育にかかる研修実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	18	18	18	18	18
		実績値	6	3	6	5	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	公立及び私立認定こども園、保育園全園（17園）で実施しており、児童の状況に応じ、適宜加配保育士を配置しています。 毎年度、園職員の資質向上を図るための研修会を実施しています。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		児童それぞれの個性を尊重し、一人ひとりの障害や能力に応じた保育を行うため、研修等による保育士の資質向上を図り、保育内容の充実を図ります。また、3歳未満児の障害児保育についても検討を進めていきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	保育サービスの充実							
施策・事業名	延長保育事業							
施策・事業概要・今後の方向	保護者が仕事等の都合により、通常の保育時間を超えて認定こども園・保育園等で児童を預かって欲しい場合に時間を延長して保育を行う事業です。 保護者の幅広い就労形態を支援するため、必要なサービス量を確保します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人／年） ※子ども・子育て支援事業計画						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	1,299	1,272	1,255	1,239	1,231	
		実績値	604	730	841	712		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立及び私立認定こども園、保育園全園（17園）で実施しており、712人の利用がありました。サービス利用を必要とする方に対する供給量は確保できています。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き必要なサービス量を確保していきます。 事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから目標値の再検討が必要です。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		保育サービスの充実						
施策・事業名		病後児保育事業						
施策・事業概要・今後の方向		認定こども園・保育園に通所している児童で病気の回復期にあることから集団保育できない場合に一時的に保育を行う事業です。 市報やホームページ等を通じ、事業内容の周知を図り、サービスを必要とする子育て家庭の利用促進を図ります。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人／年） ※子ども・子育て支援事業計画						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	62	60	60	58	58	
		実績値	7	18	25	56		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園1園で実施しています。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少していましたが、令和5年度から従来の利用に戻りました。 サービス利用を必要とする方に対する供給量は確保できています。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き必要なサービス量を確保していきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		保育サービスの充実						
施策・事業名		休日保育事業						
施策・事業概要・今後の方向		日曜・祝日などに勤務する保護者のために日曜・祝日などにおいて保育を行う事業です。 本市では未実施であることから、市民ニーズを見極めながら実施について検討します。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	休日保育事業は未実施です。			
				D				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後の動向をみて随時検討していきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	幼稚園・認定こども園・保育園交流事業の推進
施策・事業概要・今後の方向	幼稚園及び認定こども園・保育園入園児童の交流の促進、職員の合同研修の実施、子育て支援事業の連携実施など幼稚園、認定こども園・保育園の連携を強化し、保育・教育内容の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	公立園の公開保育や私立園に対する保育観察及び研修等を通じて、職員の交流及び保育内容の充実に努めました。また、公立こども園と児童発達支援センターの子ども同士の交流や公立こども園の見学などを行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		公立園の公開保育や私立園に対する保育観察及び研修等を通じて、職員同士の交流を図るとともに、保育内容の質の向上に繋がるように共に学びます。また実践を通じた意見を出し合いながら、保育・教育内容の充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	学校教育課・子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の推進	
施策の方向	保育サービスの充実	
施策・事業名	学校・園・保育所の連携強化	
施策・事業概要・今後の方向	幼稚園・認定こども園・保育園、小中学校間の教職員、子ども、保護者間の交流を図り、さまざまな機会を通して校種間連携を進めます。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	（学校教育課） 中学校区ごとに小中合同研修が実施されました。また、それぞれの学校園において、小中、こ小、こ中間で交流行事が行われました。また、キャリア教育担当研修においては、各中学校区のキャリア教育全体計画をこ、小、中で共有。子どもの現状やめざすことも像、それぞれの学校におけるキャリア教育について話しあうことができました。				
	改善（A）	B	（子育て支援課） 校区により実施状況に違いはありますが、公立こども園職員が小学校の授業参観の見学をしたり、小学校からはこども園に新1年生の様子を伝えるなど情報共有をできました。 また、小学校・認定こども園・幼稚園・保育園などを対象にした研修も実施し、				
			【令和6年度における取り組みなど】 （学校教育課） 担当者ごとの交流だけでなく、学校単位での交流会や研修会を実施します。こ、小、中が互いに行き来できる機会も設け、スムーズな情報共有がすすむよう促します。 （子育て支援課） 授業参観や子ども同士の交流・職員間の交流を進め、認定こども園・保育園・幼稚園・小中学校の職員間の校種間連携に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	幼稚園・認定こども園・保育園の人材育成
施策・事業の概要・今後の方向	保育サービスの多様化に対応できるよう、幼稚園教諭・保育教諭・保育士への研修等の充実を図り、資質の向上に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：保育教諭等を対象とした研修会開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	25	25	25	25	25
		実績値	21	32	34	34	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 公立園では「教育・保育研究会」を実施し、各園の職員間で学びの機会を作りました。 各園に対し、様々な内容の研修の情報を提供し、資質の向上に努めました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 年数の少ない職員も増えてきているので、様々な経験年数の職員が学びを深められるよう、「教育・保育研究会」の部会を改編しました。 年齢別に学ぶ部会と障害や食育など専門的なことを学ぶ部会などを設置したことにより、職員の資質向上に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標		地域における子育て支援の推進							
施策の方向		保育サービスの充実							
施策・事業名		私立認定こども園・保育園の運営に対する支援							
施策・事業概要・今後の方向		私立認定こども園及び保育園への運営支援を継続的に行うことにより、待機児童の解消はじめ、多様な教育・保育サービスの充実を図ります。							
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園に対しては施設型給付費として、また保育園に対しては運営費委託料として運営支援を行いました。 (令和5年度実績) 施設型給付費(委託料含む) 2,519,612,882円 民間保育所保育委託補助金 153,641,340円 民間保育所等運営費補助金 138,009,848円				
				B					
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 私立認定こども園及び保育園への運営支援を継続的に行うことにより、待機児童の解消をはじめ、多様な教育・保育サービスの充実を図ります。					

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標		地域における子育て支援の推進							
施策の方向		保育サービスの充実							
施策・事業名		認定こども園・保育園施設の整備・充実							
施策・事業の概要・今後の方向		私立認定こども園・保育園における施設の増改築や計画的な建替えに対し、整備費補助を行うことにより、施設の整備・充実を図ります。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 就学前教育・保育施設整備交付金を活用し、下記4法人（園）に対し、施設の老朽化に伴う大規模修繕の整備費補助を行いました。 令和5年度実績 4施設 計 152,572千円（うち交付金101,715千円） 【内訳】 （社福）日新親友会（なかよしこども園）18,633千円（うち交付金12,422千円） （社福）泉佐野ルーテル福祉会（ルーテルこども園）15,865千円（うち交付金10,577千円） （社福）杉の子会（こども園杉の子）49,500千円（うち交付金33,000千円）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度は施設整備予定の施設はありません。令和7年度以降も就学前教育・保育施設整備交付金を活用して整備費補助を行うことにより、施設の整備・充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		保育サービスの充実						
施策・事業名		放課後児童対策事業（留守家庭児童会）						
施策・事業概要の方向		保護者が昼間、就労等により不在になっているのが常態である児童に対して、適切な遊び場及び生活の場を提供する事業です。 平成27年4月より民間事業所に運営を委託しています。行事やイベント、学習支援プログラムの充実及び支援員の体制強化を図るなど事業内容を充実し、児童の健全育成に努めます。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：小学校留守家庭児童会の開設数（校／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	13	13	13	13	13	
		実績値	13	13	13	13		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	市内の全ての小学校（13校）の敷地内で実施しております。令和5年度についても、放課後子ども教室（泉佐野市おおさか元気広場推進事業）との一体的運用の体制を充実させることにより、夏休みや土曜日の体験プログラムを充実させました。また、必要に応じて専任支援員や学習支援員の充実に努めました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 登録児童数もコロナ禍の前より増えているため、環境や体制の充実を図る。昨年度に引き続き、保護者や児童の安心できる遊びや生活の場を提供させると共に、児童のけがや事故に十分配慮しながら運営します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		保育サービスの充実						
施策・事業名		放課後子供教室						
施策・事業の概要・今後の方向		放課後や週末等にすべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する取り組みです。 市内すべての小学校で実施します。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：総合的な学習時間などでの地域人材の活用（校／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	13	13	13	13	13	
		実績値	13	13	13	13		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	市内の全ての小学校（13校）の敷地内で実施しており、様々な団体と協力して、体験、交流、スポーツ、文化活動等を実施しました。感染症に係る制限も無くなり、参加人数、実施回数ともに大きく増えた。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 放課後や週末等にすべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供します。 市内すべての小学校で実施します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	保育サービスの充実
施策・事業名	放課後子ども総合プランの推進（放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な運営）
施策・事業概要・今後の方向	国の放課後子ども総合プランに基づき、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な運営を行っていきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	平成28年度に、放課後児童対策事業（留守家庭児童会）として大木小学校留守家庭児童会を開設しました。 既存の12校を含め市内全13校での放課後子ども教室（泉佐野市おおさか元気広場推進事業）との一体的な運営を実施できる整備及び体制づくりを行っております。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		引き続き、市内13小学校区内での放課後子ども総合プランの推進（放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な運営）を進めてまいります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		保育サービスの充実					
施策・事業名		子どもの居場所づくり事業（こども食堂）					
施策・事業概要・今後の方向		子どもが安心して過ごすことのできる居場所を提供し、食事の提供や学習支援等を行い、子どもに対する効果的な支援につなげます。 また、こども食堂ネットワークにより、こども食堂同士の連携を深め、市内の子どもの居場所づくりを推進します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加児童数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	750	800	800	850	850
		実績値	151	224	618	1067	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】				
		A	ひとり親世帯や生活困窮世帯など、経済的な課題や生活環境に課題のある子どもを中心に、気軽に立ち寄れる子どもの居場所をつくり、食事の提供や学習支援を行いました。 コロナ禍からの脱却により取組を進めやすい状況となり、参加者数は前年度を大きく上回りました。 （参考：令和元年度実績値 参加児童数741人） こども食堂に取り組む団体のネットワーク化を進め、市内のこどもの居場所づくりを推進しました。 （参考：泉佐野市こども食堂ネットワーク登録団体 11団体） 家庭の事情で朝食を食べずに登校する児童へ食事を提供することにより子どもの学習や成長を支えることを目的とした「こども朝食堂」を7ヶ所の小学校（長坂小・中央小・北中小・末広小・日新小・第三小・佐野台小）で実施しました。				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取組みなど】					
		ネグレクト傾向等、生活環境に課題のある子どもを対象にしながら、気軽に立ち寄れる子どもの居場所をつくり、食事の提供や学習支援を行うとともに、学校をはじめ関係機関と連携した支援に努め、児童虐待の未然防止や早期支援に繋げていきます。 「こども朝食堂」については、新たに4ヶ所の小学校（第一小・第二小・上之郷小・長南小）で実施します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		子育て支援のネットワークづくり					
施策・事業名		地域子育て支援拠点事業					
施策・事業概要の方向		地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）では、子育て家庭に対する講座の開催や情報の提供、育児相談（電話・来所相談）等を行うとともに、子育てサークルへの支援を行うなど、各種事業を実施しています。 地域における子育て支援の拠点として、利用者のニーズに対応できるよう、事業内容の充実を図ります。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（組／年） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	5,136	5,151	5,117	5,036	4,953
		実績値	3,632	3,999	5,696	6,675	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 地域子育て支援センター（つくしんぼ）では、事業実施回数313回、延べ3205組の利用があり、分館（わたぼうし）では、事業実施回数195回、延べ2766組の利用がありました。 コロナ禍以前と同様の参加・申込方法に一部戻したことで増加につながりました。 （参考：令和元年度実績値 利用組数8,233組）				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年4月から新たに私立認定こども園1ヶ所に事業委託を行い、市内3ヶ所での運営となることから、地域における子育て支援の拠点として、利用者のニーズに対応できるよう、事業内容の充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		子育て支援のネットワークづくり					
施策・事業名		0歳児育児教室					
施策・事業概要の方向		認定こども園・保育園において、1歳6か月までの子どもとその保護者を対象に、親子遊びの提供や育児不安や悩みの相談に応じています。 必要に応じて専門職が対応し、育児不安の解消や、保護者同士のつながりへの支援を実施します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加組数（組／年） （計画値：公立平成29年度から令和元年度の伸び率平均値95%×前年度実績値、私立平成29年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	398	378	358	339	321
		実績値	138	79	246	236	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 同年代の子どもと保護者が参加することで遊びの提供や関わり方などを伝え、保護者が一人で悩まず相談できるよう、遊びの提供と保護者支援を目的に取り組みました。 延べ236組（公立146組・私立90組）の参加がありました。 コロナ禍が過ぎ、実績値は回復傾向ですが、計画値は下回っています。 （参考：令和元年度実績値 参加組数397組 うち公立215組・私立182組）				
		C					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 0歳児の時期は育児不安を抱える保護者も多いので、必要に応じて専門職が対応し、育児不安の解消や、同年代の子どもを持つ保護者同士のつながりを持てるよう支援していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	遊びの教室
施策・事業概要・今後の方向	認定こども園・保育園において、1歳6か月から3歳までの子どもとその保護者を対象に、遊びを通じて保護者同士の交流や、育児相談などを実施しています。同年齢の子どもと保護者で継続して参加することで関わりを広げ、深める支援と共に、遊び内容の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加組数（組／年）					
		（計画値：公立平成29年度から令和元年度の伸び率平均値85％×前年度実績値、私立平成29年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	2,222	2,050	1,895	1,756	1,630
		実績値	1,114	811	1,429	1,264	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 同年代の子どもと保護者が継続して参加することで、保護者同士の関わりが持て、一人で悩まず相談できるつながりができるよう、遊びの提供と保護者支援を目的に取り組みました。 延べ1264組（公立296組・私立968組）の参加がありました。 コロナ禍は過ぎたものの、実績値は計画値を下回りました。 （参考：令和元年度実績値 参加組数1,860組 うち公立713組・私立1,147組）				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 同年代の子どもをもつ保護者同士のつながりを作り、子育ての相談や子育て情報の共有などができ、安心して子育てできるよう支援していきます。 事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから目標値の再検討が必要です。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	のびのび子育て応援
施策・事業概要 の方向	満1歳6か月までの子どものいる世帯で希望する世帯に対し、公立認定こども園の保育教諭が訪問、またはハガキ通信を行い、悩みの相談に応じたり、子育てに関する情報を提供しています。 保護者のニーズを把握し、情報提供することで、安心して子育てができるよう、事業を継続実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用世帯数（世帯／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	52	51	50	49	48		
		実績値	27	27	32	44			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 ハガキを投函した家庭の近隣の公立園の保育士が訪問し、子育てに関する相談に応じるとともに、子育て支援事業等の情報提供を行いました。また、月齢に応じて悩みやニーズも違うことから、必要に応じて栄養士等の専門職が同行しました。 計画値に近い利用がありました。 （参考：令和元年度実績値 利用世帯数45世帯）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 保護者のニーズを把握し、子育て情報の提供や子育ての相談に応じます。また、各地域の子育て支援事業に参加できるよう情報提供し、地域で安心して子育てができるようつながりを作っていきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	私立認定こども園・保育園園庭開放
施策・事業概要の方向	地域における身近で安全な遊び場を提供するとともに、子ども同士、保護者同士の交流の場として、また子育ての悩みや不安、負担を共有し、気軽に話せる場として、認定こども園・保育園の園庭を開放しています。入園を希望される園への参加があるため、園内の様子や雰囲気を知ってもらうことと、地域の子育て支援施設として安心して利用してもらえるよう、事業を継続実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加組数（組／年） （計画値：平成27年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,056	1,003	952	904	858
		実績値	405	440	741	483	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園、保育園14園全園で実施しています。 参加組数は計画値を大きく下回りましたが、本事業は入園を希望される保護者にとって園の様子、雰囲気を知ってもらう良い機会となりました。 （参考：令和元年度実績値 参加組数727組）				
	改善（A）		【令和6年度における取り組みなど】 こども園・保育園の様子を知ってもらうとともに、地域の子育て支援施設として安心して利用してもらえるよう事業の周知に努めます。 事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから目標値の再検討が必要です。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	私立幼稚園・公立認定こども園園庭開放
施策・事業概要・今後の方向	地域における身近で安全な遊び場を提供するとともに、子ども同士、保護者同士の交流の場として、また子育ての悩みや不安、負担を共有し、気軽に話せる場として、私立幼稚園の園庭を開放しています。公立認定こども園においては、地域における教育センターとしての機能を果たすため、事業を継続実施します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：延べ参加組数（組／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	2,723	2,586	2,456	2,332	2,215		
		実績値	2,151	1,369	1,778	2,645			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立幼稚園では、子ども同士、保護者と子ども同士の交流の場として、絵本の読み聞かせ、お母さんコーラス、入園前教室を実施し、時に応じ、園庭開放を行いました。 公立認定こども園では、園児の活動にも興味を示され、入園についての質問や相談も多くあり、園の様子や雰囲気を知ってもらう良い機会となりました。 前年度と比べ実績値は計画値を上回りましたが、新型コロナウイルス感染症対策による申込制の撤廃などにより参加しやすくなったことが要因の一つと考えられます。 （参考：令和元年度実績値 参加組数2,535組）				
				B					
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 こども園・幼稚園のことや普段の様子を知ってもらうとともに、入園に関することや子育ての相談を気軽にでき、また、子ども同士や保護者同士の交流の場として安心して利用してもらえるよう事業の周知に努めます。								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課				
基本目標	地域における子育て支援の推進						
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり						
施策・事業名	公立認定こども園施設開放						
施策・事業概要・今後の方向	毎週土曜日に公立認定こども園のホールや保育室を開放し、絵本の読み聞かせや遊びを提供しています。 地域における子育て支援施設としての機能を果たすため、事業を継続実施します。						
令和2年度	目標事項・進捗状況	①指標：参加組数（組／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	548	520	494	469	445
		実績値	41	21	53	116	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立認定こども園で実施しており、子育ての相談や入園に関しての相談が多くありました。保育室を開放しているので天候に左右されず利用してもらえ、また、土曜日ということで父親の参加もありました。 前年度と比べ、参加組数は増加したものの、計画値は大幅に下回りました。 （参考：令和元年度実績値 参加組数450組）				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 地域における子育て支援施設としての機能を果たすため、事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから事業内容等の再検討が必要です。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	公立認定こども園行事開放
施策・事業概要・今後の方向	公立認定こども園で実施している行事（焼き芋会、もちつき会、クリスマス会等）に地域の子育て家庭も参加してもらっています。 行事を通して在園児との交流を図るとともに、保護者同士の交流の場として、事業を継続実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	17	18	19	20	21
		実績値	0	0	0	0	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止して以降実施していません。 （参考：令和元年度実績値 実施回数17回）				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから事業内容等の再検討が必要です。							

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課				
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		子育て支援のネットワークづくり					
施策・事業名		2歳児親子教室（未就園児親子体験）					
施策・事業概要・今後の方向		2歳児とその保護者を対象に、いろいろな教育活動を通して社会性が芽生え、徐々に自立ができるよう、また、集団生活に馴染んでいくことを目的として、私立幼稚園で実施しています。 教室を通じて保護者同士の交流の輪も広がることから、事業を継続実施します。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加組数（組／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	122	115	109	103	97
		実績値	71	102	133	131	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立幼稚園2園で実施しており、コロナ禍前の参加状況まで持ち直しました。 （参考：令和元年度実績値 参加組数125組） ※参考（私立幼稚園の状況） （安松幼稚園） 子ども同士の触れ合い、お母さん同士の交流が十分に果たされたと思います。 2歳児親子教室の実施は、子どもの自立を促すという子どもの成長だけでなく、親の成長にも寄与したと考えています。 （カトリック天使幼稚園） 週3回の親子活動の回数を増やすことにより参加しやすくなったと思います。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 （安松幼稚園） 前年度と同様に、より一層の充実に努めます。 （カトリック天使幼稚園） 今年度は登録制とし、人数の確保に努め、満3歳児入園に繋げたいと思います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

生涯学習課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	子育てネットワーク支援
施策・事業概要 の 今 後 の 方 向	子育て世代の保護者の就労率が高まり、新たな子育てサークルを結成しようという動きが留まっているため、既存の子育てネットワーク三輪車の活動支援と存続について協力・協調していくとともに子育て支援センターとの連携を密にします。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 子育てネットワーク三輪車は『第2回いずみさの子ども未来応援フェスタ』でスライムとセンサリーボトルを作るワークショップコーナーを担当し、途中で整理券がなくなるほどの大盛況だった。また『プレイパーク』は2回（春・秋）開催し、延べ参加人数741人で気候の良い時期に親子で戸外遊びを思いっきり楽しむ機会となった。 子育て支援センターと共催の『あそびの広場』は9回実施し、延べ参加人数317人で親子の憩いと交流の場として大変需要が高いと感じた。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 『第3回いずみさの子ども未来応援フェスタ』の開催も決まっており、様々な団体とのつながりを大切にして、互いに協力して活動していけるように支援していきたい。また、子育て支援センター、基幹包括支援センターとも情報を共有しながら、子育て支援のニーズに柔軟に対応していけるよう取り組んでいきたい。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

社会福祉協議会・地域共生推進課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり
施策・事業名	子育てサロン
施策・事業概要・今後の方向	小地域ネットワーク活動の一環として、地域において子育てで悩んでいる親への支援や、親同士の交流の場を提供し、子育てを支援します。 参加者への丁寧なかかわりによる孤立防止や参加しにくい人へのアプローチの工夫等にも取り組んでいきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：子育てサロン実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	330	330	330	330	330
		実績値	63	60	158	198	
		②指標：子育てサロン参加人数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6,830	6,840	6,850	6,860	6,870
		実績値	1,633	924	2,291	2,983	
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
	令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】				
担当課 評価			新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、集合形式の子育てサロンの実施回数及び参加人数については増加傾向にありますが、計画値の達成には程遠いため、様々な機会を通じて、参加者の呼びかけを継続していく必要があります。				
改善（A）		D					
		【令和6年度における取り組みなど】 町会・自治会に加入していない子育て中の世帯が増加しているなかで、従来の個別訪問による案内やチラシ等の回覧・掲示などの広報に加えて、それぞれのサロンの取り組み内容の共有など、相互で取り入れられる様々なアイデアが活発に意見交換されるよう、より充実した研修会・連絡会の企画について検討します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	地域における子育て支援の推進							
施策の方向	子育て支援のネットワークづくり							
施策・事業名	私立認定こども園・保育園による地域貢献事業（子育てサロンの支援）							
施策・事業の概要・今後の方向	私立認定こども園・保育園が各地区福祉委員会に参画し、各地区（町）で実施している「子育てサロン」に保育教諭・保育士を派遣するなどサロン運営を支援しています。 地域における子育て支援の充実を図るため、事業を継続実施します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 私立認定こども園及び保育園が市内14か所の子育てサロンの支援を行いました。気軽に子育てに関する相談ができたり、遊んだりすることで地域に根ざした交流の場として活用していただいています。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 地域における子育て支援の充実を図るため、事業を継続実施します。また、子育てサロン実施地区研修会・連絡会への参加により、子育てサロンの更なる発展を目指します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子どもの健全育成
施策・事業名	多世代・異年齢がふれあい・交流できる拠点の充実
施策・事業概要・今後の方向	幼稚園・認定こども園・保育園、小・中学校を子どもの遊び場や地域住民と子どもとの交流の場、子どもと高齢者のふれあいの場とし、中学校区での行事や、各校で行われる「総合的な学習の時間」などを活用して、学校園を交流の拠点となるよう努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：公立認定こども園の交流事業（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	7	7	7	7	7
		実績値	0	0	0	0	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 （学校教育課）	（学校教育課） 各学校園において、地域の方を学校に招き、「昔遊び体験」や「昔の生活のききとり」などを実施しました。また、各中学校区において、市、地域住民と連携し、各中学校区フェスタを開催し、交流しました。				
		B （子育て支援課）	（子育て支援課） 新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止して以降実施していません。 （参考：令和元年度実績値 交流事業7回）				
		D					
		改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 （学校教育課） 地域の方との交流会、各中学校区フェスタは今年度も継続していきます。それに加え、子どもたちの生き方のロールモデルとなるような地域の方との出会いの場を設定します。 （子育て支援課） 事業は継続実施しますが、計画値と実績値の乖離が大きいことから事業内容等の再検討が必要です。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 社会福祉協議会・子育て支援課・地域共生推進課

基本目標	地域における子育て支援の推進
施策の方向	子どもの健全育成
施策・事業名	世代間交流事業
施策・事業の概要・今後の方向	小地域ネットワーク活動の一環として、福祉委員会主催の世代間交流会などを開催することにより、高齢者が地域の子供達と交流を行い、地域の伝統文化を学び、地域への愛着を育む機会の提供に努めます。 また、認定こども園・保育園においては、高齢者施設を訪問することにより、園児と高齢者との世代間交流を継続して実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：世代間交流会実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	185	185	185	185	185
		実績値	34	76	158	155	
		②指標：世代間交流会参加人数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	16,030	16,040	16,050	16,060	16,070
		実績値	1,183	2,617	6,299	6,382	
		③指標：公立認定こども園と高齢者施設との交流回数（回／年）					
		（計画値）公立3園×2回					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
計画値	6	6	6	6	6		
実績値	0	0	1	1			
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 (地域共生推進課) C (子育て支援課) B	(社会福祉協議会・地域共生推進課) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、集合形式の世代間交流会の実施回数及び参加人数については増加傾向にある一方で、計画値の達成には程遠いため、引き続き様々な機会を通じて参加の呼びかけを行い、子どもたちが高齢者との交流を通じて地域の伝統文化を学んだり、地域への愛着を育む機会を提供していく必要があります。				
		(子育て支援課) 新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、敬老大会に公立こども園1園が参加し、歌や体操を舞台上で披露しました。					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		(社会福祉協議会・地域共生推進課) 少子化・核家族化によって地域とのつながりが希薄になりつつある中、地域において世代間の交流が活発化するよう、交流の機会の提供が継続できるよう支援していきます。また、参加者への丁寧なかかわりによる高齢者及び子育て中の親子などの孤立防止や新たな参加者を増やすためのアプローチの工夫などにも取り組んでいきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		青少年課			
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		子どもの健全育成					
施策・事業名		講演等を通じた啓発活動					
施策・事業の概要・今後の方向		広報紙などを通じ、青少年の健全育成に対する理解を深める啓発活動を引き続き実施します。					
計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：青少年問題講演会開催数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1	1	1	1	1
		実績値	0	0	0	1	
		②指標：青少年問題講演会参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	40	40	40	40	40
		実績値	0	0	0	6	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度は青少年問題協議会を10月に開催しました。その中で、警察署からの講演や泉佐野地区保護司会から活動報告が行われ、青少年問題に関するいろいろな問題や課題が話し合われました。また、講演会も少人数ではありましたが、開催できた。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度は青少年問題協議会を10月に開催予定です。11月に泉佐野市内各駅に「子ども・若者育成支援強調月間」の啓発旗、市役所庁舎に懸垂幕の設置や青少年指導員連絡協議会や各団体のご協力をいただき、上記啓発のティッシュ配りや講演会も予定しています。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		青少年課				
基本目標		地域における子育て支援の推進						
施策の方向		子どもの健全育成						
施策・事業名		青少年問題協議会などの活動						
施策・事業概要・今後の方向		青少年問題協議会などの啓発活動を充実し、市民の青少年健全育成に対する理解促進と健全育成にふさわしい環境づくりに取り組みます。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：啓発旗設置数（旗／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	10	10	10	10	10	
		実績値	10	20	20	20		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	令和5年度は青少年問題協議会を10月に開催しました。その中で、警察署からの講演や泉佐野地区保護司会から活動報告が行われ、青少年問題に関するいろいろな問題や課題が話し合われました。また、11月には、講演会も開催しました。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度は青少年問題協議会を10月に開催予定です。11月に泉佐野市内各駅に「子ども・若者育成支援強調月間」の啓発旗、市役所庁舎に懸垂幕の設置、続いて昨年同様に講演会の開催も予定しています。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課						
基本目標		地域における子育て支援の推進							
施策の方向		子どもの健全育成							
施策・事業名		地域住民の協力による青少年健全育成活動							
施策・事業の概要・今後の方向		各学区組織との連携により地域住民による青少年に対する声かけや街頭啓発などを実施し、地域全体で青少年を見守り育成する環境づくりを促進します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：校区定例会の開催回数							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	60	60	60	60	60		
		実績値	28	22	47	47			
		②指標：校区巡回補導や挨拶運動の参加人数							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	250	250	250	250	250		
		実績値	41	38	83	210			
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 各取組みが例年通り実施され、例年以上に多くの指導員が精力的に活動に取り組みました。				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 各取組みの内容について精選し、より活発で青少年の健全育成に繋がるものにする。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

青少年課・人権推進課

基本目標 地域における子育て支援の推進

施策の方向 子どもの健全育成

施策・事業名 青少年育成事業・北部市民交流センター青少年分館・南部市民交流センター青少年センター・生涯学習センター他

施策・事業の概要・今後の方向 青少年や保護者のニーズに合った事業展開と各種活動の充実などに努め、青少年の健全育成の促進を図ります。子ども達の学習環境ニーズに応えるユニバーサルな学びの場を提供し、学習に対する意欲「できた」という思いを向上させることに努めます。学校と連携し学習のやる気につなげ、子どもの自立学習を目指します。また、各種講座や教室の内容の充実及び実施場所と講師確保に努めます。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：自学自習学習会の実施数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	115	115	115	115	115
		実績値	104	107	264	374	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					

令和5年度	評価(C)	【令和5年度評価】					
		担当課評価	(青少年課) 令和4年より拡大事業『COZY SPACE』は従来どおり稼働しておりますが、アフターコロナにきて、まだ不登校や引きこもりといった、児童だけではなく保護者の相談もお受けし、個人のプライバシーを尊重しつつ、学校とも連携をとり柔軟な対応もしております。 (人権推進課) 北部市民交流センター青少年分館では、青少年活動（英会話講座：52回、太鼓講座：24回、ゴルフ講座：48回、サッカー講座：45回、空手講座：40回）、自学自習活動（朝学習：31回）、子育て支援・交流等活動（子ども育成事業JOY活動：285回、青少年ボランティア養成講座：285回）を実施しました。 南部市民交流センター青少年分館では、青少年活動（フットサルクラブ：23回、学習・人権活動：15回、館外活動：13回、絵画工作教室：33回、子どもクッキング：16回、スポーツ・体操活動：9回、レクリエーションゲーム活動：22回、青少年リーダー育成活動：234回、社会見学：3回、子どもコンサート：2回、手話講座：2回、習字教室：129回、漢字検定：4回、英会話教室：8回、陶芸教室：4回、自学自習活動（児童学習会：214回、中友学習会：3回）を実施 子育て支援・交流等事業：3回実施しました。				

令和5年度	改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】					
		(青少年課) 昨年同様、生涯学習センター、日根野中学校、らいふらいん（泉佐野電力内）を自学自習学習の会場として、元教員を講師として加え、中学校のテスト前の勉強など、さらなるニーズに合うよう心がけています。 (人権推進課) 社会が徐々にコロナ前にもどりつつあるが、まだまだ不安な日々が続いている。そのため、子供たちの不安な気持ちに寄り添い創意工夫し、できる限り事業・取組を実施する予定です。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		青少年課			
基本目標		地域における子育て支援の推進					
施策の方向		子どもの健全育成					
施策・事業名		こども会活動					
施策・事業概要の方向		こども会育成事業委託料 市内各こども会の連合体である「泉佐野市こども会育成連合会（市こ連）」へ育成事業を委託 市こ連の主な行事／4月総務部会・5月ソフトボール大会・7月ドッチボール大会・7月親子研修会（ディキャンプ）・10月泉こ連グラウンドゴルフ大会・11月オセロ大会等を実施					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：市こ連行事（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6	6	6	6	6
		実績値	0	2	3	6	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度は、4月当初にもかかわらず、市こ連の会議があり、5月にソフトボール、7月にドッチボール・10月末に親子研修（ディキャンプ）・11月に泉こ連のグラウンドゴルフ、同月の祝日には市こ連オセロ大会が実施され、コロナ禍で、制限されていたイベントが次々に再開され、子どもたちは楽しく参加しておりました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 上記、定例イベントのなかで、今年度は泉こ連ブロック幹事市となっており、11月のイベントには毎年グラウンドゴルフでしたが、ドッチビーとなるニュースポーツも企画・運営の予定です。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

地域共生推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	母子健康手帳の交付
施策・事業の概要・今後の方向	母子の一貫した健康管理と健康保持のため、妊娠から出産、育児の記録となる手帳を交付します。 交付時には妊婦に対してファミリー教室や地域子育て支援センターの案内や副読本などを配付するなど、妊娠中や子育ての不安の軽減を図るための情報を提供します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：妊娠11週までの母子健康手帳交付割合（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	94.1	95.1	96.1	97.1	98.1
		実績値	96.0	96.0	95.1	95.9	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	指標としている妊娠11週までの母子健康手帳交付割合は、95.9％／年と計画値は達成できていませんが、数値は近づいており、おおむね達成できている状況です。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
母子健康手帳交付時に、サポートプランを立案し、妊娠中や子育ての不安の軽減を図るための情報提供ができるように、取り組んでいきます。また、妊娠届出の面接職員の研修等を実施しスキルアップに取り組めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	妊婦一般健康診査、産婦健診、妊産婦等歯科健康診査の充実
施策・事業の概要・今後の方向	妊産婦の健康管理を図り、疾病の予防、早期発見を目的に健康診査を行います。 妊産婦が健やかな妊娠・出産ができるよう、引き続き内容の充実や受診率の向上、医療機関と連携し、適切な支援が適時に受けられる体制づくりをします。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：妊産婦等歯科健康診査受診数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	360	380	438	483	516
		実績値	304	311	297	338	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 健診受診の際には、地域の医療機関、助産施設と連携し、受診後の円滑な支援に努めています。また、多胎妊娠時にはリスク回避のために妊婦健診受診券5枚を追加し母体管理に努めました。 健康意識の指標として妊産婦等歯科健診の受診率を指標としています。上記指標より大きく外れていますが、前年度より2.1%増加しています。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き受診率の向上のために周知の継続をします。また、医療機関等の関係機関との連携の充実を図り、未管理妊婦や飛び込み出産の防止に努めます。引き続き多胎妊娠時には妊婦健診5枚の追加をします。 核家族化がすすむ昨今、妊娠中は不安や、地域との孤立感などが大きいと考えます。地域包括支援センターでの支援を継続します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）			
基本目標		妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進					
施策の方向		子どもや母親の健康の保持					
施策・事業名		妊産婦訪問指導の充実					
施策・事業概要の方向		妊娠届によりハイリスク妊婦を把握し、早期から支援の必要な妊婦・産婦の把握に努め、妊娠・出産・育児に関して必要な保健指導や相談を行い、安心して妊娠、出産、育児ができるよう支援を行います。今後も、身体面に加え、“こころの支援”の取り組みを推進します。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：妊婦訪問指導数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	87	92	92	92	92
		実績値	26	16	33	52	
		②指標：産婦訪問指導数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,182	1,200	1,200	1,200	1,200
		実績値	801	611	658	654	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 「子育て世代包括支援センター」での妊娠届時に心身の健康状態や産後の支援者の有無などを聞き取り、ハイリスク妊婦の把握を行い早期支援をしています。身体的・精神的・経済的など様々な課題を抱える妊産婦には関係機関との連携や、訪問などの個別支援を行いました。産婦健診ではエジンバラの指数などで産婦の身体・精神状況を把握し、産後ケアの利用などに勧めました。 妊産婦数は減少していますが、早期支援が必要な方は増加傾向であり、訪問数は現状維持できています。				
		C					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 子育て世代包括支援センター（市内5か所）や医療機関などの関係機関と連携を図り、妊産婦の要支援者への早期介入に努めます。 また、令和6年度より契約外施設を利用した産後ケア事業助成金制度、低所得世帯の妊婦の経済的負担の軽減を図るため初回産科受診料助成事業が開始され、周産期の切れ目のない支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	産後ケア事業
施策・事業概要・今後の方向	退院直後の母子に対して、心身の不調又は育児に不安がある方でサポートが得られにくい方を対象にデイサービスやショートステイなどにより心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう支援します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：産後ケア利用数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	10	15	20	25	30
		実績値	14	11	18	27	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	出産直後の子どものいる家庭に対して、産婦の心身の不調や育児不安がある方で、サポートが得られにくい方を対象にショートステイやデイサービスなどによりサポート等を行いました。令和4年度から流産・死産を経験した1年未満の産婦も対象としました。ご実家が遠方でサポートが困難であったりご実家の祖父母が仕事をしておりサポートが望めない方の利用が多く、医療機関からの事業の紹介もあり、前年度と比較し計画値を超える利用がありました。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		産婦の心身の不調や育児不安がある方、またサポートが得られにくい産婦が一定数存在すると考えられます。今後も心身の不調や育児不安がある方の早期発見に努め、医療機関などと連携し、事業を継続していきます。流産・死産を経験した産婦の利用者はなかったが、引き続き医療機関からの案内により流産・死産の方に案内していきサポートも行っていきます。令和6年度より契約外施設を利用した産後ケア事業助成金制度が開始され、より一層産婦支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	助産施設への入所
施策・事業概要・今後の方向	経済的理由等により入院助産を受けることができない妊婦の入院を支援することにより安全・安心な出産につなげ、母子の健康と児童福祉の増進を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：措置件数（件）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	10	10	10	10	10
		実績値	8	9	6	10	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	妊婦が経済的理由により、出産を諦めざるを得ない状況に陥らないよう、助産制度はセーフティネットの役割を果たしている。令和5年度は10件の利用実績がありました。 市内措置施設：りんくう総合医療センター、谷口病院				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
制度を周知し、対象者が適切に制度を利用することができるよう事業運営を行います。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	禁煙と受動喫煙の防止の推進
施策・事業の概要・今後の方向	妊婦・乳幼児期の保護者に対する禁煙と妊婦・乳幼児に対する受動喫煙防止を支援します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：妊娠中の母の喫煙率					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	4.1	5.9	3.0	3.4	
		②指標：4か月児健康診査時の母の喫煙率					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	6.7	7.9	6.4	6.2	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	禁煙や受動喫煙防止について、妊娠届出時に妊婦またはその家族に喫煙者がいる場合にチラシを子育て世代包括支援センターより手渡し啓発しています。また、乳幼児健診時、また、さのっこナビ（電子母子手帳）登録者へ啓発をしています。 例年、5月の禁煙週間に合わせて、市役所1階ロビーでの啓発活動とし展示ブースやチラシの配布を行いました。				
		C					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 今後も妊娠届出時や訪問、乳幼児健診などで禁煙や受動喫煙防止に関する情報の啓発を継続していきます。また、イベントの開催や集団健診の機会に、工夫をしながら啓発に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	新生児訪問
施策・事業の概要・今後の方向	助産師等の訪問により新生児の発育や栄養、生活環境についての適切な指導や相談を行っています。 育児支援や虐待防止のため、事業の広報・啓発活動に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：新生児訪問数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	20	22	25	28	30
		実績値	18	52	28	14	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	保護者の申し出や医療機関との連携により把握した生後28日までの新生児のいる家庭に助産師等の専門職が訪問し、新生児の発育や栄養、生活環境などについての適切な指導や相談を行っています。ちらしやホームページ、電子母子手帳などでも周知しています。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		今後助産師等の訪問により個々の新生児の状況に応じた発育や栄養、生活環境などの適切な指導や相談を行っていきます。また、産婦健診や産後ケア事業と連携し、事業の周知に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	乳幼児健康診査等の充実
施策・事業の概要・今後の方向	4か月児・乳児前期・乳児後期・1歳6か月児・3歳6か月児を対象とした健康診査の内容の充実に努めるとともに、新生児聴覚検査事業を実施し、発達確認や健康保持・増進、疾病・虐待の早期発見、親子同士の交流など、育児支援の役割も果たせるよう健康診査の充実と受診率の向上に努めます。なお、経過観察を必要とする乳幼児には疾病の早期発見に努めるとともに、専門医師や心理相談員による指導の充実や小児発達の専門医の確保に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：4か月児健康診査の受診率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	98.0	98.5	99.0	99.5	100.0
		実績値	98.5	99.0	99.3	97.9	
		②指標：1歳6か月児健康診査の受診率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	99.5	99.6	99.7	99.8	99.9
		実績値	100.2	97.7	101.7	100.7	
		③指標：3歳6か月児健康診査の受診率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	95.8	96.0	96.2	96.4	96.6
		実績値	94.9	95.6	97.5	97.0	
令和5年度	評価（C）	担当課評価	乳幼児健診時に把握された支援が必要な児や保護者に対して、専門医や相談員への適切な相談へつなぐとともに、子育て支援課等の関係機関と連携して対応しています。健診未受診児は子育て支援課と連携し、全員把握に努めました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 切れ目ない健診体制を継続します。また、小児科医や専門医、相談員への適切な相談につなげます。乳幼児健診は異常の早期発見、医療機関への紹介などが重要です。また、不安の解消などの機会でもあるため、受診率の向上を目指し、継続していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課 健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	歯科疾患予防事業の充実
施策・事業概要・今後の方向	虫歯の急増期における幼児及びその保護者を対象に、口腔内診査や保健指導等を行うことにより、歯科疾患の予防に努め、さらなる受診率の向上と健康づくりの意識の啓発に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：2歳児歯科健康診査の受診率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	91.1	91.3	91.5	91.7	91.9
		実績値	86.2	95.2	96.7	95.0	
		②指標：3歳6か月児健康診査のう歯保有率					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	18.8	18.5	18.2	17.9	17.8
		実績値	18.8	16.3	14.1	9.9	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	計画値						
	実績値						
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	平成29年度から妊産婦と妊娠を希望される女性を対象に歯科健診事業を開始し、乳幼児期については健診時に口腔内診査や保健指導等を行い、妊娠前から乳幼児期までの一貫した歯科疾患予防体制が構築されています。2歳児歯科健診の受診率が増加しており、また3歳6か月健診時のう蝕率も低下しています。				
	A						
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
歯科健診などの事業時においては口腔内だけではなく、栄養面や生活面の保健指導を行い、歯科疾患の予防に努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	こどもの予防接種
施策・事業概要・今後の方向	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、各種定期接種を実施するとともにインフルエンザの蔓延抑制、重症化予防を図るため小児インフルエンザの費用助成を継続します。 また、令和3年度まで第5期風しん予防接種を実施し、風しん症候群の予防に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：麻しん2期接種率（％）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	92.8	91.1	92.2	91.6	
		②指標：BCG接種率（％）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	102.6	94.9	97.4	100.7	
		③指標：こどものインフルエンザ予防接種助成数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	10,940	11,967	12,241	12,853	13,496
		実績値	11,103	7,437	6,508	5,899	
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 予防接種の実施により多くの感染症患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらしています。予防接種法における定期予防接種については出生届時、訪問時、各乳幼児健診時に接種の受診勧奨を行い、保護者の相談に回答しています。どの予防接種も接種率を維持しています。 令和元年度より子どものインフルエンザ費用助成事業を実施しています。令和5年度は1,500円の費用助成でした。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するために、各種定期予防接種を実施するとともにインフルエンザのまん延抑制、重症化予防を図るため小児インフルエンザの費用助成を継続します。 また、令和6年度まで第5期風しん予防接種を実施し、先天性風しん症候群の予防に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	健康診査事後事業（親子教室）
施策・事業の概要・今後の方向	1歳6か月児検診及び経過観察検診等で事後指導が必要とされた子どもとその保護者を対象に教室や発達相談、懇談会などを実施しています。 健康推進課や関係機関との連携を図り、遊びや交流を通じて子育てに関して学べる場の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：親子教室入室児童数（人） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	79	75	71	67	63		
		実績値	52	63	60	61			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
				担当課 評価	週1日～2日程度、年齢別、発達状況別にクラスを分け、親子で通室してもらっています。 発達相談や通室時の様子を通して、保護者とともに子どもの姿を共有したり、保護者と職員の学習会の実施など、親子共に成長することを目的として取り組み、61人の利用がありました。 （参考：令和元年度実績値 入室児童数66人）				
B									
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】							
		関係機関との連携を図り、必要な支援に繋げていくよう努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	妊産婦・乳幼児の保健指導、相談
施策・事業の概要・今後の方向	保健師、栄養士が妊産婦に対して疾病の予防や健康増進に関し、適切な指導や相談を行っています。また、乳幼児に対しては、発達、疾病予防、生活習慣、栄養、食事、予防接種、事故予防など電話や面接、家庭訪問や集団教育等、様々な方法で保健指導し、乳幼児の健全育成を図るとともに親の育児不安の解消に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：妊婦個別相談・家庭訪問延べ人数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	395	403	411	419	428
		実績値	359	122	171	287	
		②指標：乳児個別相談・家庭訪問延べ人数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,569	1,600	1,632	1,665	1,698
		実績値	1,426	1,081	1,283	1,701	
		③指標：幼児個別相談・家庭訪問延べ人数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	2,512	2,562	2,613	2,666	2,719
		実績値	2,284	2,436	2,265	2,498	
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評 価	妊産婦に対して保健師、栄養士、助産師が集団教室、家庭訪問、個別相談の場において疾病の予防や健康増進に関して、指導や相談を行っています。乳幼児に対しても、電話や面接、家庭訪問や集団教育など、様々な方法で保健指導を行っています。個々の状況にあった育児不安の解消に努めています。				
	改善（A）	B					
			【令和6年度における取り組みなど】 相談にはできる限りタイムリーなタイミングや方法で支援できるよう努めていきます。また、妊産婦健診などの情報や、医療機関や子育て支援課等の関係機関と連携しリスクを早期に発見し支援の強化をしていきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	ブックスタート事業
施策・事業の概要・今後の方向	絵本を通して楽しいひとときが過ごせるよう、乳児健診（4か月健診）時に絵本の読み聞かせを行い、絵本を配付しています。 今後は、新規のボランティアの養成やそのボランティアへの支援をしていながらボランティアのスキルアップにも努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：ブックスタートボランティア支援回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12	12	12	12	12
		実績値	0	0	6	6	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の拡大により、4か月児健康診査時にボランティアからの絵本の読み聞かせを行い、絵本を配布していた事業は中止していましたが、令和5年度より再開しました。従来通り、ボランティアの読み聞かせにより、父母子の情緒の安定、はぐくみを行うことができました。				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 年6回の定例会を実施、講習会を開催したりします。次年度の絵本の選定し、実際の読み聞かせを行いボランティアのスキルアップに努めていきます。ボランティアスタッフの新規参加者の開拓なども行っていきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	子どもや母親の健康の保持
施策・事業名	育児等健康支援事業・乳幼児育成指導事業（ととこくらぶ）
施策・事業の概要・今後の方向	遊びと交流を通じて経過観察や育児支援を行っています。 引き続き、内容の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：離乳食講習会後の交流会と未熟児交流会の参加児童数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	300	355	410	460	510
		実績値	283	181	358	474	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	参加者は増加傾向で、年24回（月2回）開催することができました。育児不安や育児下手の方が多く参加し、保育士や保健師、助産師等が対応し、個々の状況にあった育児不安の解消に努めたり、保護者同士の交流をはかることができています。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		参加者への育児不安や育児下手、保護者間での交流の支援をしていきます。また、関係機関との連携を図りながら、個々にあった支援の充実に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	母子栄養管理事業（ファミリー教室）
施策・事業概要・今後の方向	ファミリー教室参加者や妊婦健康診査受診者に対して、妊娠中の食事や健康管理などについての相談に応じ、出産に対する不安の解消を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：ファミリー教室参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	120	120	120	120	120
		実績値	33	14	67	137	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	ファミリー教室は育児不安が大きい妊婦が増加しており、参加希望者も増加しています。令和5年度は前期4回、後期4回と回数を増やし例年より多くの方が参加できるようにしました。妊婦だけではなく、家族の参加を促し、妊婦や家族の不安を解消し、必要時には他機関との連携を図りました。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
妊娠中の妊婦、その家族は不安になりやすく、今後も家族を含めた教室の運営に努めていきます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	離乳食講習会の充実
施策・事業概要・今後の方向	離乳食に関する正しい知識の普及と相談、食生活を中心とした保護者の育児不安の解消、親の仲間づくりの場の提供や食育を通じた交流を目的として実施しています。赤ちゃん相談など他の事業と連携し、充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：離乳食講習会・赤ちゃんお食事会参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	310	313	316	322	325
		実績値	72	61	223	312	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評 価	子育て支援センターで離乳食講習会を行い、離乳食のことだけではなく、参加者同士の交流も図っています。参加者は増加傾向で、試食を行うことで、離乳食への不安軽減に努めました。また、参加者へ終了後アンケートを実施し、次回の実施に向けての参考としています。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
離乳食の時期に合わせた開催をし育児不安に対応していきます。保護者に試食を通し、調理方法や実際の離乳食を実感してもらい、わかりやすい講習にて育児不安の軽減に努めます。また、保護者同士の交流についても引き続き実施していきます。 令和6年度は、新たな取り組みとして、離乳食講習会の実習編を計画しています。料理が苦手、離乳食作りについて丁寧なフォローが必要な保護者に対して、調理実習を交えて支援していきます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	乳幼児期からの食育の推進
施策・事業の概要・今後の方向	「食育推進計画」に基づき、様々な場において食育に関する啓発を行っています。保育所や幼稚園など関係機関と連携し、乳幼児期から発達段階に合わせた規則正しい生活習慣を育むよう働きかけ、食育を推進します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：さのっ子ナビ（電子母子手帳）における食育関連情報の発信回数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12	12	12	12	12
		実績値	11	13	13	14	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	電子母子手帳「さのっ子ナビ」を活用し、登録者へ食育に関する情報提供、啓発を行いました。（登録者2,783人：R6年3月31日時点）				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度も「さのっ子ナビ」を活用し必要な情報を発信するツールの一つにしていきたいと思います。イベントについても実施していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課・健康推進課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	保健・福祉・教育等の連携の推進
施策・事業の概要・今後の方向	「食育推進計画」に基づいたネットワークを活用し、望ましい食習慣等の啓発に努めます。 「健康増進計画・食育推進計画」の庁内推進会議を開催し、担当部署での取組状況の確認をするとともに、栄養教諭を中心に各校で継続して取組みを実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：庁内推進会議の開催回数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	（学校教育課） 各校で食育推進計画を作成し、望ましい食習慣の確立に向けて取組みを進めました。				
		B	（子育て支援課） 庁内推進会議を通じて、関係部署の取組内容を確認しました。				
			（健康推進課） 泉佐野市健康増進計画・食育推進計画に関する施策を総合的かつ効果的に推進することを目的として、庁内関係部局で組織する泉佐野市健康増進計画・食育推進計画庁内推進会議を開催し、関係各課にご出席いただき、泉佐野市の現状と各課の取り組み状況や課題を情報交換しました。関係課が健康増進及び食育推進のため、事業を実施していることがうかがえました。				
		改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】				
			（学校教育課） 各校で、食育推進計画を見直ししながら、栄養教諭を中心に各校で引き続き取組みを進めます。特に、SDGs（食品ロス等）をテーマにした食育に力を入れます。				
			（子育て支援課） 庁内推進会議等を通じて、関係各課との連携を図ります。				
			（健康推進課） 今年も年1回、庁内関係部局で組織する泉佐野市健康増進計画・食育推進計画庁内推進会議を開催し、（1）計画案の策定及び推進すること。（2）健康増進及び食育推進のための情報交換及び連携協力に関すること。（3）健康増進及び食育推進に係る普及啓発に関すること。（4）その他、設置目的の達成に必要な事項に関すること。を協議し、泉佐野市健康増進計画・食育推進計画に関する施策を総合的かつ効果的に推進していきます。				

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

健康推進課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	食生活改善推進協議会の活動支援
施策・事業概要・今後の方向	健康づくりを支援するために食生活改善推進協議会を育成し、活動を支援します。イベントや乳幼児健診時などを利用し、市民に身近な場で食育推進活動を行っています。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：健康関連チラシの配布（枚）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,500	1,500	1,500	900	900
		実績値	0	0	523	772	
		②指標：食育活動支援実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12	12	12	12	12
		実績値	8	12	18	26	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、イベントの場で食生活改善推進協議会と連携し、参加者に応じた内容での食育活動を実施しました。乳幼児健診については、コロナ前には、2歳児歯科健診時に食生活改善推進協議会が食育のコーナーを実施していましたが、感染対策で密を避けるために再開していないため、2歳児歯科健診の人数分（600）を減らした数に目標値を変更しました。食育活動支援実施回数については、定例会に加え、健康都市連合日本支部大会に食生活改善推進協議会の会員とともに参加したため、支援回数が増加しました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
令和6年度については、EXPO 前年に実施される、「6月1日2日にワクワクEXPO with 第19回食育全国大会」に泉佐野市のブースで食生活改善推進協議会の協力のもと実施します。活動の場を広げる支援や地域特性を盛り込んだ活動するための支援を実施します。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		生涯学習課			
基本目標		妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進					
施策の方向		食育の推進					
施策・事業名		食育の推進					
施策・事業概要・今後の方向		食生活改善推進協議会との連携を軸として、企業のCSR活動（出前講座など）を積極的に取り入れながら、様々な食に関する知識や情報を学ぶ機会を提供し、食生活への意識の向上に努めます。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、泉佐野市食生活改善推進協議会との共催で、例年とおり「夏休み親子クッキング」を2回開催し、合計20組 延べ参加人数46人だった。コロナ禍で中止となっていた「親子クッキング」の開催を待ちわびていた親子が久しぶりの開催にとっても喜んでた。非常に人気がある食育講座なので、次年度も引き続き開催を検討します。また、ニッポンハム出前講座「親子で飾り切り教室」や明治食育セミナーを開催し、親子が食と健康についてのお話を聞いたり飾り切り実習を楽しんだり、食育啓発へとつなげることができた。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 泉佐野市食生活改善推進協議会との共催を継続し、親子での食育を考える機会を提供していくとともに、企業の主宰している出前講座なども活用しながら、食育活動を推進する取り組みを検討していく。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	食育の推進
施策・事業名	学校・園における食育活動
施策・事業概要・今後の方向	各校で、食育推進計画を見直ししながら、栄養教諭を中心に各校で引き続き取り組みを進めます。園においては、クッキング保育や菜園活動、養護教諭や地域活動栄養士の講師を招聘するなど、食への関心を深めたり、食の安心・安全をめざした活動を行うとともに、関係機関の協力を得ながら食育活動を進めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：学校食育研究会（校／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	18	18	18	18	18
		実績値	18	18	18	18	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	（学校教育課） 年間3回予定していた学校食育研究会のうち、3回とも集合型で実施できました。 SDGsをテーマにグループで取り組んだことを、研究会で発表してもらい、各校の 次年度の取組みにつなげました。				
		B	（子育て支援課） 園においては、衛生面や感染症対策への配慮を行いながら、クッキング保育や菜園 活動を実施し、食への関心を深める取組をしています。菜園活動では収穫した野菜 を職員が調理するところを見てもらうことで食へることへの楽しみを持てるよう取 組みました。 また、公立園では栄養士による食育のお話を定期的（2歳～5歳児各クラス年間1～ 2回）に実施し、「栄養だより」を年間6回発行しました。				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取組みなど】					
		（学校教育課） 食育研究会を年間で3回開催予定です。年間を通じて「SDGsと食育」をテーマに取組み、 2学期には各校で公開授業を行います。公開授業には、栄養教諭が参加する予定です。3学期 には、研究授業をふまえて、各グループから研究成果について発表します。 （子育て支援課） 栄養士による食育指導やクッキング活動や菜園活動で育てる楽しさや収穫したものを食べる楽 しみなどの経験ができ、食への関心を持てるよう引き続き取り組みます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	思春期保健対策の充実
施策・事業名	性情報に対する学習機会の充実
施策・事業の概要・今後の方向	大阪府からの研修会の案内を学校へ送付し、積極的な参加を呼び掛けます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：「性に関わる指導」研修会参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	3	3
		実績値	実施なし	実績なし	3	4	
		②指標：「LGBTについて」の研修会開催数（校／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	9	9	9	9	9
		実績値	8	10	12	12	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課評価	「学校におけるトラウマインフォームドケア」と「こどもに寄り添うために一性まつわる健康課題について」をテーマに行われた大阪府教育庁主催の2回の研修会に、市内から4名の教員が参加しました。				
		B	「性的マイノリティの人権」について、小中学校あわせて12校が研修を実施しました。				
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		府からの研修会の案内や周知事項を学校へ送付し、積極的な参加を呼び掛けます。 「性的マイノリティの人権」について、人権教育推進委員研修や市の人権教育研修講座や校内研修、ヒアリングの中でとりあげるなどして、取り組みを推進します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課	
基本目標		妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進			
施策の方向		思春期保健対策の充実			
施策・事業名		飲酒・喫煙・薬物乱用に対する教育の充実			
施策・事業概要・今後の方向		喫煙・飲酒や薬物乱用、危険ドラッグなど心身に害を及ぼす行為の防止に関する教育の充実を図ります。また、警察署や少年サポートセンターと連携し、薬物乱用防止教室を市内全小・中学校で実施します。			

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	保健の授業を中心に、喫煙・飲酒や薬物乱用、危険ドラッグなど心身に害を及ぼす行為の防止に関する教育の充実を図りました。 泉佐野警察や岸和田少年サポートセンター、本市の生徒指導支援員（警察OB）と連携し、市内全小中学校において非行防止教室、薬物乱用防止教室を実施しました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 保健の授業や、警察や少年サポートセンター、本市の生徒指導支援員（警察OB）と連携した薬物乱用防止教室を市内全小中学校で実施し、喫煙・飲酒や薬物乱用、危険ドラッグなど心身に害を及ぼす行為の防止に関する教育の充実を引き続き図ります。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	思春期保健対策の充実
施策・事業名	学校保健の充実（健康診断等の実施）
施策・事業の概要・今後の方向	適切な健康診断の実施及び健康相談、事後措置、健康情報を踏まえ、子ども一人ひとりに応じた健康指導を充実し、病気の予防や早期発見、小児生活習慣病への対応等指導を行います。 健診業務については、継続的な管理により疾病の予防や早期発見が可能となるため、継続して実施します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	例年どおり、小中学校児童生徒の健康診断は、6月末までに実施しました。また、新入学就学前検診については、10月中旬から11月末までに実施しました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 学校生活を送るにあたり支障があるかどうかの健康状態を把握することや、学校における健康課題を明らかにし健康教育に役立てていくことを目指して、引き続き健康診断等を実施していく予定です。 また、「脊柱側湾症健診」については、養護教諭からの要望により、二次検診を2学期末までに結果を保護者へ通知できるよう健診を早めて実施する予定です。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

健康推進課

基本目標	妊婦並びに乳幼児等の健康の保持及び増進
施策の方向	小児医療の充実
施策・事業名	小児救急医療体制の充実
施策・事業の概要・今後の方向	泉州初期急病センターにおいて、夜間や休日における小児救急医療体制の維持に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：泉州南部初期急病センター診療日数（日／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	170	171	169	172	171
		実績値	170	171	169	172	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	木曜日：20時から23時、土曜日：17時から20時、日曜日・祝日：10時から17時に計画通り年間合計172日、小児時間外診療を実施しました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
泉州南部初期急病センターの円滑な運営に努めるとともに、診療時間や利用方法など周知に努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	次代の親の育成
施策・事業名	性教育・家庭科教育の充実
施策・事業の概要・今後の方向	外部機関（医師、ゲストティーチャー）と連携した取組みを行っている学校等を他校に紹介し、各校の性教育・家庭科教育の一層の充実を図ります。 また、道徳科等の他教科とも関連させながら、取組みを充実させます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	文部科学省作成の「生命（いのち）の安全教育」の教材を紹介したり、外部機関（医師、ゲストティーチャー）と連携した取組みを行っている学校等を他校に紹介したりして、各校の性教育・家庭科教育の充実を図りました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 計画的に取組みを行っている学校等を他校に紹介し、各校の性教育・家庭科教育の一層の充実を図ります。 市内小中学校へ「性に関わる指導」研修への参加を促します。 文部科学省作成の「生命（いのち）の安全教育」の教材の活用を推進し、各校で加害者にも被害者にも傍観者にもならないための性教育を進めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		生涯学習課			
基本目標		子どもの成長に資する教育環境の整備					
施策の方向		次代の親の育成					
施策・事業名		講演会や学習会の開催					
施策・事業概要・今後の方向		少子化・核家族化が進む中で「子育て」が「孤育て」とならないように、親子・家族間のコミュニケーションや関係作りなどをテーマに学習会を実施すると共に親子で参加できる講座を開催し、共通体験の機会を提供します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	親子で参加する「親子でDIY」12組/25人、「親子でみゆき染め」7組/16人「秋の和菓子講座」8組/19人、「親子でアイシングクッキー」10組/23人、合計37組、延べ99人の参加であった。いずれも参加者は親子で経験できて楽しかった。ととても好評だった。次年度も親子で参加できる講座を継続して企画していきたい。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 家庭では経験できない内容や親子で体験できるとより共感できることを講座として企画して、提供できるよう検討していきたい。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		生涯学習課			
基本目標		子どもの成長に資する教育環境の整備					
施策の方向		次代の親の育成					
施策・事業名		家庭教育学級の充実					
施策・事業の概要・今後の方向		子育て世代の悩み等については、学校はもとより地域や保護者同士のつながりを深めることが大切です。 家庭教育学級事業を通じ、学習と交流ができるよう取り組みます。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 新型コロナウイルスが5類に移行され、通常とおりの活動の再開を各小学校にお願いしたが、家庭教育学級の運営・開催がなかった学校が3校あった。全体の延べ参加人数は478人、その内合同研修会参加人数は13人でした。活動ができている学校とそうでない学校の格差を縮めていけるよう支援していきたい。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 各小学校の実情を鑑み、昨年度は家庭教育学級の活動支援をお願いとしてアナウンスしていたが、今年度は積極的に活動を進めるよう責任を託して依頼した。子育て世代の保護者同士のつながりが希薄になってきていることで、子育ての悩みを一人で抱えてしまっている保護者が増加していないかと懸念する。保護者間の関わりやコミュニケーションを深めるためにも合同研修会への参加を呼びかけていきたい。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	教育相談事業
施策・事業の概要・今後の方向	児童・生徒本人の直接の悩みや不安、保護者の子育て不安等の解消に向け、退職校長や臨床心理士による教育相談やカウンセリングの充実に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 引き続き退職校長や退職教職員、家庭の教育機能総合支援指導員、臨床心理士による教育相談の体制の充実に努めました。 児童・生徒や保護者が相談しやすい人材登用、環境整備により、教育相談体制が充実しました。				
	改善（A）	B	【令和6年度における取り組みなど】 退職校長や退職教職員、家庭の教育機能総合支援指導員、臨床心理士を増員させ、教育相談の体制のさらなる充実に努め、児童・生徒の悩みや不安、保護者の子育て不安等の解消を引き続きしていきます。 支援員への研修機会の充実をはかり、子ども・家庭への支援に繋げていきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	不登校対策事業
施策・事業の概要・今後の方向	「さわやかルーム」、「シャイン」の2つの教育支援センターと学校が密接に連携し、センターでは不登校状態の子どもや家庭のケア、学校では不登校の未然防止に取り組めます。 子ども達の現状分析やアセスメントを行うなど、効果的な不登校対策を展開します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	引き続き、学校と教育支援センターが連携を密にし、臨床心理士や不登校支援協力員、家庭の教育機能総合支援指導員、メンタルフレンド等の協力を得て、不登校の児童生徒や家庭のケアを行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		定期的に不登校対策サポート委員会を開催し、学校と市教委や教育支援センター、不登校支援協力員、家庭の教育機能総合支援指導員等が連携しながら、不登校対策の充実を図ります。また、不登校の児童生徒をケアするとともに、新規の不登校を防止する魅力ある学校づくりの取り組みをさらに進めます。					

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	生徒指導の充実
施策・事業の概要・今後の方	児童・生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるよう学校一体となった指導・支援体制を整備・充実します。また、不登校への支援や登下校時の安全対策に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、個性の伸長を図りながら社会的資質や行動力を高めるようSC・SSW等の専門家、また支援人材（家庭の教育機能総合支援指導員や不登校支援協力員等）とも連携して、学校一体となった指導・支援体制の整備充実に努めました。 いじめに関しては、千人率で48.1件となり、ここ数年間で最も多くいじめ認知ができ、全国平均並みの水準まで到達しています。一方で、大阪府全体でみるとまだ平均まで達していないことから、更なる取組みの充実が求められます。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
【令和6年度における取組みなど】 学校内だけで解決方法を模索するのではなく、SC・SSW等の専門家や支援人材（家庭の教育機能総合支援指導員や不登校支援協力員等）とも連携して、チーム学校として一体となった指導・支援体制の整備充実に努めます。 いじめに関しては、令和2年1月15日制定した「泉佐野市いじめ防止等に関する条例」、「泉佐野市いじめ防止基本方針（第2版）」、そして、「泉佐野市いじめ認知改善プラン」に基づき、組織的にいじめを見落とさず、積極的な認知を行うことで千人率で50.0件を目標とします。また、昨年度改訂された生徒指導提要の内容に基づき、学校全体で発達支持的生徒指導を推進できるよう、市としても研修会や連絡会で積極的に周知し、教職員の理解を深めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備							
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備							
施策・事業名	幼児教育の推進							
施策・事業概要・今後の方向	幼稚園・認定こども園・保育園の教育内容を充実するとともに、園庭開放などの事業を実施することにより、地域の子育て家庭を支援するなど、地域における教育センターとしての機能を強化し、地域に開かれた園づくりを推進します。							
計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針をもとに、教育・保育計画を立て、各年齢の発達を踏まえ、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標に、教育・保育内容の充実を図りました。 また、地域子育て支援事業を実施することで、子育ての相談や遊びの提供など、地域の子育て家庭への支援を行いました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 幼稚園・認定こども園・保育園在園児に対する教育内容の充実に努めるとともに、地域子育て支援事業を実施することにより、地域の未就園児のいる子育て家庭の支援に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課				
基本目標		子どもの成長に資する教育環境の整備					
施策の方向		子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備					
施策・事業名		学力向上の推進					
施策・事業の概要・今後の方向		大阪府の事業を活用し、事業実施校を旗艦校として市内全体の授業改善と言語活動の充実に努めるとともに、旗艦校とペアとなる学校を指定し、取組みの継承と個別の支援を行います。 学力向上担当者会を月1回行い、情報提供をします。					
計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：学力向上担当者会の開催数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	11	11	11	11	11
		実績値	13	10	11	11	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	府事業も活用し、事業実施校3校を旗艦校に、市内全体の授業改善と言語活動の充実に図った。小中一貫教育の視点のもと、中学校区でのつながりを作るため、学力向上担当者会を中心に校区で話し合う機会を設け、連携した取組みを推進した。 「泉佐野教育文化運動」については、教育フォーラムを実施した。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取組みなど】 事業実施校は昨年度より1校増加し、4校となった。これらの学校を旗艦校として市内全小中学校において、言語能力および情報活用能力を育成するための授業改善を推進する。昨年度に引き続き、小中一貫教育の視点のもと、中学校区でのつながりを作るため、学力向上担当者会を中心に校区で話し合う機会を設け、連携した取組みを推進する。 「泉佐野教育文化運動」については、「子ども理解」についての研究、教育フォーラムの開催等、全市的な取組みを継続して進めていく。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	児童・生徒の個性に応じた進路指導の充実
施策・事業概要 ・今 ・後 ・方 ・向	児童生徒のもつ能力や適性など一人ひとりの良さを踏まえた進路指導を推進し、各自が進路選択できるよう支援します。具体的には、入試制度の情報提供を随時行い、また、中学校においては市教委主催の奨学金説明会を実施し、生徒が進路を幅広く選択できるよう支援します。奨学金の貸付等、保護者からの進路相談にも応じます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：進路保障連絡会の開催数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	年2回、進路保障連絡会を開催し、入試制度の情報提供を行いました。特に、配慮が必要な子どもたちに対する入試における配慮事項の手続きについて詳しく説明を行いました。				
		B	加えて、市教委に届く学校見学会等の情報提供を随時行い、自分にあった進路選択が行えるように支援を行いました。 また、各中学校において市教委主催の奨学金説明会開催や、リーフレットの全中学校生徒への配布により、家庭の経済状況により進路選択の幅が狭くならないように支援を行いました。 相談件数 34件 リーフレット配布回数 年3回				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		これまでの取り組みを継続し、年2回の進路保障連絡会を開催し、入試に関する情報提供及び入試における配慮事項の情報提供を行います。加えて、校園長会、進路保障連絡会においても積極的に周知します。					
		奨学金に関しては、市内5中学校において市教委主催の奨学金説明会を実施するとともに、リーフレットを全中学校生徒に配布するだけでなく、市内小学校にも数部配布し、早い段階から展望ある進路選択ができる意識を持てるように引き続き支援していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	交流教育の推進
施策・事業概要・今後の方向	インクルーシブ教育の理念のもと、通常の学級における合理的配慮の提供及び授業のユニバーサルデザイン化を推進し、全ての子どもが互いに尊重し合いながら主体的に学ぶことのできる環境づくりをめざします。また、支援学級との交流会が行事にとどまらず、日常的に行われるよう、支援教育を推進していきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	通常学級と支援学級の交流や府立支援学校との居住地交流は令和5年度も実施することができました。 また、支援教育コーディネーターや支援教育担当を中心とした合理的配慮や基礎的環境整備の充実についても各校において丁寧に取り組んでいます。を図ってきました。また、令和5年度からインクルーシブ教育推進アドバイザーを各学校に派遣し、通常学級でのインクルーシブ教育の実現に向けた相談やアドバイスを行った。これにより、取り組みの見直しや改善を行うことができた。これからも支援学級・通常の学級・通級指導教室など、さまざまな場において適切な支援の手立ての検討と、インクルーシブ教育の推進を図っていきます。				
	B						
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		令和6年度も「インクルーシブ教育推進アドバイザー」が配置され、インクルーシブ教育のさらなる推進を目指して各校からの相談や、各校への助言を行います。なお、学校を訪問する機会として、通級指導教室への巡回相談（各校年2回）、インクルーシブ教育推進の学校巡回訪問（各校年2回）を予定しています。学校や教職員のインクルーシブ教育実現に向けての思いや悩みに丁寧に向き合いながら取り組みをすすめます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	在日外国人及び帰国者の児童・生徒に対する指導の充実
施策・事業の概要・今後の方向	在日外国人や帰国者の子ども等の学校生活や就学・進路選択のため、日本語指導担当教員を配置し、日本語指導の必要な児童・生徒に指導を行うとともに、通訳介助員を配置し、学校生活や授業での支援を行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	日本語指導加配教員による日本語指導を行っており、令和5年度には第二小学校、佐野中学校、第三中学校に日本語指導教員を配置し、市内の日本語指導を必要とする児童生徒への指導を行いました。 また、学校生活において通訳を必要とする児童生徒に対して、通訳者の配置を行いました。				
	B						
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
3名の加配教員と連携を行う担当者会議を設け、引き続き指導の充実と、通訳者の配置を継続します。また、多文化共生の観点から、世界の文化のよさを広げる取り組みをすすめます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

社会福祉協議会・地域共生推進課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	ボランティア体験学習会の充実
施策・事業概要・今後の方向	ボランティア体験を通じて、自分が出来る事は何かを考える機会を設け、ボランティア活動のハードルを下げ、学生世代を含めた新規の登録ボランティアの確保に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：ボランティア総登録者数（人口比割合／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0
		実績値	0.2	0.2	0.2	0.2	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座やイベントの検討・開催を行いました。傾聴ボランティア活動をしたり、また活動を希望している施設等からのニーズが高まってきたことにより、ボランティア運営委員会と協議し、傾聴ボランティア養成講座を実施しました。その結果として、ボランティアの登録者数は令和4年度204名でしたが令和5年度は222名と18名の新規登録者が増えました。また延べ活動人数は438名でした。				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 新規のボランティアを増やすため、引き続きボランティア活動説明会を定期的実施し、ボランティアフェスティバルやチャリティーバザーなどの各種行事を行うことにより、ボランティア活動の啓発に取り組みます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	環境教育の推進
施策・事業の概要・今後の方向	環境保全意識の向上をめざして、学校や地域などの場において学習できるよう支援します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	市内施設（浄水場、清掃施設）への見学を案内し、市内における環境対策について学習する機会をもつことができました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
今年度も、市内各施設（浄水場、清掃施設）への見学を案内し、市内における環境対策について学習する機会を設けます。また、ジュニアEXPO学習読本等SDGsに関する案内を配布、啓発し、環境についての学びを深めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	青少年課					
基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備							
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備							
施策・事業名	ジュニアリーダー養成事業							
施策・事業の概要・今後の方向	今後も従来と同程度の事業を実施し、活動を推進する。また、ジュニアリーダー育成講習の応募者数の増加を図ります。							
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：ジュニアリーダー養成講習会開催数（回／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	1	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1	1		
		②指標：ジュニアリーダー在籍数（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	30	30	30	30	30	
		実績値	29	32	32	30		
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度の養成講習会は6月から8月にかけて実施し、62期生となる新規会員は7名であった。毎年、実施されています協定締結市町村体験学習では、兵庫県淡路市ほかへ、リーダー10名の参加があり、野島断層記念館などの見学で、震災の凄惨さを学びました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度は、上記からの変更点をあげますと、協定締結市町村体験学習がふるさと創生課の事業の一端となり、形を変え市の青少年健全育成事業を推進することとなる予定です。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

青少年課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備
施策・事業名	稲倉青少年野外活動センター運営事業
施策・事業概要・今後の方向	野外活動を通じ自己表現を図り、社会の一員として責任、役割を自覚し、幅広い視野や協調性・創造性を身につけ自立することを目的とした体験事業を開催し、青少年の健全育成を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：稲倉青少年野外活動センター利用数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1,064	1,064	1,064	1,064	1,064
		実績値	120	51	-	-	-
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 泉佐野市稲倉青少年野外活動センターは事業用定期借地契約となりました。（定期借地契約期間令和4年7月1日から令和24年3月31日まで）				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 泉佐野市稲倉野外活動センター事業用定期借地契約による民間活用予定。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課					
基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備							
施策の方向	子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備							
施策・事業名	国際理解教育の推進							
施策・事業の概要・今後の方向	外国の人々とのふれあい・交流を通じて、外国の文化、習慣への理解を深めるとともに、自国の良さや文化を世界に発信するための表現力を養う教育を進めます。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	人権教育研修講座において、多文化共生教育をテーマとしてとりあげ、多くの教職員で学びを深めることができました。また、市人研、市外教とも連携し、学校ごとの実践を交流したり、その実践報告をもとに協議を重ねることができました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今年度も、人権教育研修講座において、多文化共生教育をテーマとしてひとつの学習会を設けたいと考えています。また、市人権、市外教とも連携し、多くの実践を広めていきたいと考えています。 家庭の都合等、外国からの急な編転入を余儀なくされている子どもも少なくないことから、日本語指導担当教員と協力し、より効果的な日本語指導、また、多文化共生教育の発信基地としての日本語指導教室の在り方について協議していきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

生涯学習課

基本目標 子どもの成長に資する教育環境の整備

施策の方向 家庭や地域の教育力の向上

施策・事業名 家庭教育に関する学習機会の提供

施策・事業の概要・今後の方 向
時代に即した家庭教育の課題を踏まえて、子育て中の方々が知りたい・学びたい内容の学習会や講座を開催し、家庭教育の支援・充実に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：家庭教育に関する学習機会(自主講座等)の提供数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
計画値							
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 B	今年度も子育て中の保護者を対象とした「アンガーマネジメント～怒ったっていいんだよ～《子育て編・全3回》」を実施し、延べ参加人数は31人（内訳：11人・9人・11人）でした。 参加者は子どもの年齢が近い人達だったので、子育てのことで日々試行錯誤していることを出し合うことで“自分だけではなく、みんな悩みながら頑張っている”ことを知り、励みになったようです。次年度も子育ての一助となるような講座を開催していきたい。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 核家族化が進み、子育てに悩む保護者を支援することは孤育対策として、とても重要である。『アンガーマネジメント』は怒りのコントロールを学ぶことができ、子育て以外の場面でも活かせるスキルであるため、受講者が増えることで泉佐野市民全体のスキルアップにつながればと思う。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		生涯学習課			
基本目標		子どもの成長に資する教育環境の整備					
施策の方向		家庭や地域の教育力の向上					
施策・事業名		子どもと大人が協働して学び合う体験活動の推進					
施策・事業の概要・今後の方向		地域性や特色を生かしたテーマの講座の実施に取り組む、その中でどのようにして子どもから大人まで一緒に協働していく活動と位置付けできるかを検討します。					
計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	子どもと大人が協働して学び合う体験活動の実施に至らなかったため、今後地域での体験活動をどのように取り組みとして進めていくかを模索していく必要がある。				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 子どもと大人が協働して行える活動をどのように講座として位置付けしていくか、また共に学び合う体験としてどのような活動が可能かについて情報収集に努め、実施に向けて検討していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

スポーツ推進課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	家庭や地域の教育力の向上
施策・事業名	スポーツを通じた世代間交流の促進
施策・事業概要・今後の方向	市民総合体育館の予約の入っていない時間帯を活用して、バドミントンまたは卓球ができる共用利用として体育室を開放し、スポーツを楽しむ機会をより多く提供します。また、本市出身アスリートの応援企画の実施や幅広い世代が参加できる「スポーツフェスタ泉佐野」の開催など、子どもから高齢者にいたるまでスポーツを通じて交流ができる催しを開催することで、世代間交流を促進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：スポーツフェスタ参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	0	0	2,300	2,650	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 C	令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置付けが2類から5類に移行されて以降初めてのフェスタ開催であり、前年度の参加者人数2300名から約15%増の2650名となりましたが、残念ながら計画の3000名には約12%届きませんでした。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き、本市体育協会及びスポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団、スポーツリーダー協議会の4組織によるスポーツフェスタ実行委員会で協議を重ね、スポーツ体験を通じて、幼児から高齢者および障がいのある方等、すべての個人が自分の好みや特性に合ったスポーツを選び継続的に楽しむ資質を醸成することにより、生涯スポーツ社会の構築をめざします。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・環境衛生課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもを取り巻く有害環境対策の推進
施策・事業名	社会環境の点検活動の推進
施策・事業の概要・今後の方向	深夜飲食店、カラオケボックス等の遊興施設、非行少年のたまり場など、社会環境の悪化につながる場所の実態を把握し、有害な環境から子どもを守ることに努めます。また、有害看板の撤去のため市内を随時パトロールします。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：違法屋外広告物の除却活動回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6	6	6	6	6
		実績値	8	11	7	7	
		②指標：違法簡易広告物追放登録員研修の実施回数（2年ごとに実施）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	－	1	－	1	－
		実績値	－	1	－	1	－
		③指標：違法簡易広告物追放登録員研修の受講人数（2年ごとに実施）					
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
計画値	－	25	－	25	－		
実績値	－	23	－	23	－		
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	（環境衛生課） 活動回数に対しての違法屋外広告物の撤去枚数（R5：24枚・R4：21枚）が、昨年度対比では増加しているが、それ以前（R3：63枚）と比べて格段に減少してきています。				
		B	（学校教育課） 令和5年度は計画通り、年3回実施することができました。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
（環境衛生課） 活動の成果もあり、年々、違法屋外広告物の撤去枚数は減少してきています。今後も継続して講習会を行い、違法屋外広告物がなくなるよう、地域の教育機関、並びにボランティアの方々と本事業をすすめていきます。 （学校教育課） 令和6年度も年間計画通り、年3回実施予定です。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

青少年課・学校教育課

基本目標	子どもの成長に資する教育環境の整備
施策の方向	子どもを取り巻く有害環境対策の推進
施策・事業名	青少年対策事業の推進
施策・事業概要・今後の方向	暴走族追放・少年非行防止街頭啓発、秋祭りパトロール、挨拶運動を実施し、青少年の健全育成を促進します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：各校区における巡回補導活動の参加人数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	200	200	200	200	200
		実績値	20	21	25	210	
		②指標：青少年指導者講習会への参加人数					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	60	60	60	60	60
		実績値	0	9	6	32	
		③指標：青少年健全育成活動に係る街頭啓発活動の参加人数					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値	15	15	15	15	15	
	実績値	0	0	18	20		
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 環境浄化活動や補導活動、啓発活動、ワクワクふれあいハイキング、研修会の参加等、さまざまな青少年健全育成活動を例年以上に精力的に実施することができました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 計画通り取組を実施し、市内の青少年の健全育成に繋げていきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		建築住宅課			
基本目標		子育てを支援する生活環境の整備					
施策の方向		良質な住宅の確保					
施策・事業名		市営住宅の整備・充実					
施策・事業の概要・今後の方向		今後も、耐震性の低い老朽化した市営住宅を計画的に建て替え、住宅困窮者のニーズに応えることのできる市営住宅の供給を促進します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：新規管理住棟数（棟（戸）／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	0	0	0	1棟（52戸）	0
		実績値	0	0	0	1棟（52戸）	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	鶴原団地住宅（8～15棟）の建替事業については令和5年3月に新住棟が完成し、同年4月より住戸管理を開始しました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 鶴原団地住宅（8～15棟）の建替事業により完成した新住棟は令和5年4月より住戸管理を開始しました。また、上田ヶ丘団地住宅（1～17棟）の建替事業については、令和7年中の新住棟の住戸管理開始に向け、建替予定地の測量業務をはじめ、建物本体建設工事が開始されています。鶴原団地住宅（8～15棟）の建替事業により完成した新住棟と同様に住宅困窮者のニーズに応えることのできる市営住宅を目指していきたいと思います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

都市計画課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	良好な居住環境の確保
施策・事業名	快適な住環境づくりの促進
施策・事業の概要・今後の方向	建築物の耐震化を推進し、道路・公園等の整備を総合的に行うことで、良好な住宅の誘導や供給、土地取引等の適正な指導に努め、快適な居住環境を促進します。 また、子どもが地域で安全で安心して遊び、地域住民がくつろげる場を確保する等、まち全体の住環境の充実を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：耐震診断補助件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	22	22	22	22	22
		実績値	6	6	5	8	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	耐震診断補助 8件				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 耐震診断補助制度については毎年フォーラムを実施するなど制度の周知に努めておりますが、補助制度があるとはいえ実施者の自己負担が伴うことから、飛躍的な件数増は困難と考えられます。しかしながら能登半島地震の影響もあり問合せ自体は増加傾向にあり、また既存建築物の耐震化推進は良好な居住環境の確保に欠かせないものであることから、今後も事業を継続することで快適な住環境づくりを促進していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

都市計画課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	良好な居住環境の確保
施策・事業名	居住者の健康を脅かす新たな問題への対応
施策・事業概要・今後の方向	大阪府等の関係機関と連携を図り、住宅が及ぼす健康被害についての情報提供に努め 該当無し

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
令和4年度	評価（C）	【令和4年度評価】					
		担当課 評価	E				
	改善（A）						
		【令和5年度における取り組みなど】					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

道路公園課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	良好な居住環境の確保
施策・事業名	公園施設整備事業
施策・事業の概要・今後の方向	子どもが安全で安心して公園を利用できるように、公園遊具のハザードの回避など、公園施設の適切な整備、維持管理を進めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	子どもが安全で安心して公園遊具を使用できるように遊具の点検を実施しました。 また、点検の結果、劣化等がみられる遊具については補修等を行いました。 点検公園数：187カ所 点検遊具数：584基 補修を行った遊具数：9基				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		引き続き、遊具点検を実施し、子どもが安全で安心して公園遊具を使用できるように努めます。 点検予定公園数：200カ所 点検遊具数：610基					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

都市計画課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	安心して外出できる環境の整備
施策・事業名	大阪府福祉のまちづくり条例や法律の周知・指導
施策・事業の概要・今後の方向	大阪府福祉のまちづくり条例において保育所その他に類するものは、基準適合義務の対象であり、建築確認申請において大阪府が審査することとなっており、市として開発指導要綱等で積極的に周知、助言を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	開発指導要綱に基づく事前協議時での周知、助言を行いました。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		大阪府福祉のまちづくり条例において、こども園その他これに類するものは基準適合義務の対象で、大阪府が審査することになっておりますが、従来同様、開発指導要綱に基づく事前協議時に市も積極的に制度に関する周知を図り、助言を行います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	安心して外出できる環境の整備
施策・事業名	「赤ちゃんの駅」事業
施策・事業概要・今後の方向	「赤ちゃんの駅」は、乳幼児を連れた保護者が、外出先で授乳やおむつ替えのために利用していただける施設で、市役所などの公共施設をはじめ、幼稚園や認定こども園・保育園、ショッピングセンターや銀行などの施設にも設置しています。乳幼児を連れて安心して外出できるよう設置施設の拡充に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：「赤ちゃんの駅」設置箇所数（か所）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	37	37	37	37	37
		実績値	37	39	39	39	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	公共施設等8か所、病院1か所、幼稚園2か所、保育所1か所、認定こども園19か所、ショッピングセンター4か所、銀行2か所、自動車販売店2か所の合計39ヶ所に設置しています。				
	改善（A）	B					
		【令和6年度における取り組みなど】 乳幼児を連れて安心して外出できるよう、設置施設の拡充に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	道路公園課					
基本目標	子育てを支援する生活環境の整備							
施策の方向	安心して外出できる環境の整備							
施策・事業名	通園・通学路の安全確保の推進							
施策・事業の概要・今後の方向	子どもや車いすに配慮した歩道のバリアフリー化や転落防止柵の設置、通学路のグリーンベルト設置・路面標示など通園・通学路の安全確保を推進します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：歩道のバリアフリー化数（m／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	150	150	150	150	150	
		実績値	130	0	120	150		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度については、松原中町線歩道改良工事を実施し、歩道のバリアフリー化をすすめました。転落防止柵設置についても、必要に応じて施工しております。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度については、令和5年度に引き続き松原中町線歩道改良工事、追加路線として葵町日根野線道路改良工事実施して歩道のバリアフリー化を進める予定です。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

自治振興課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	安全・安心なまちづくりの推進
施策・事業名	防犯灯助成事業の推進
施策・事業概要・今後の方向	町会・自治会が維持管理する防犯灯の設置費用（LED灯のみ）及び電気代を助成することにより、LED防犯灯の整備を進め、地域の安全な環境づくりを推進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：防犯灯のLED化率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	70.0	80.0	90.0	100.0	100.0
		実績値	67.9	72.5	76.9	78.3	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	令和4年度の実績値は76.9%であり、1.4%の増加。防犯灯管理団体80団体中、LED化率100%＝15団体。90%以上100%未満＝21団体。80%以上90%未満＝8団体。				
	改善（A）	C					
		【令和6年度における取り組みなど】					
		本事業について、令和6年度も泉佐野市防犯推進事業費補助金（LED式防犯灯新設・更新事業）により事業を継続する。LED化率は増加傾向にあるが、不特定多数の者が往来する街路等を照らし、市内における街頭犯罪を未然に防止するため、さらなる防犯灯LED化を促進する。特に既存の蛍光灯式防犯灯からLED式防犯灯への更新を促進する。LED化を促進することにより、防犯灯にかかる電気料金が安価となり、同補助金防犯灯電気料金負担事業についても支出を抑える効果を見込む。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	安全・安心なまちづくりの推進
施策・事業名	学校・園の安全確保を図る取り組みの推進
施策・事業の概要・今後の方向	小学校においては、校門受付員を配置し、来訪者の確認を行うなど、児童が安心して学べる環境づくりを推進します。 幼稚園・認定こども園・保育園においては、門の施錠及びインターホンにより来訪者を確認するなど安全確保を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課	（学校教育課） 小学校において、引き続き全校に校門受付員を配置し、来訪者の確認を行うなど、児童が安心して学べる環境づくりを行いました。 また、各小学校の通学路に防犯カメラをさらに増設し、不審者の抑止につながりました。				
		B	スクールガードリーダー（警察OB）を配置し、見守り活動が充実しました。 予定通り市内一斉パトロールを年3回実施でき、地域の見守り活動体制の構築につなげるとともに、地域ぐるみで子どもを見守る意識を高めることができました。				
			（子育て支援課） 幼稚園・認定こども園・保育園においては、園務員の配置及びインターホンにより来訪者を確認することにより安全の確保に努めました。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		（学校教育課） 小学校において、引き続き全校に校門受付員を配置し、来訪者の確認を行うなど、児童が安心して学べる環境づくりを行います。 また、各小学校の通学路に防犯カメラを増設し、不審者の抑止につなげます。 スクールガードリーダー（警察OB）を配置し、見守り活動を充実させるとともに、地域の見守り活動体制の構築につなげます。 市内一斉パトロールを年3回実施し、地域の見守り活動体制の構築につなげるとともに、地域ぐるみで子どもを見守る意識を高めます。					
		（子育て支援課） 引き続き園児の安全確保に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課・子育て支援課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	安全・安心なまちづくりの推進
施策・事業名	防災教育の推進
施策・事業概要・今後の方向	学校・園において、消防訓練や施設見学を実施し、通報、消火、避難訓練等の防災教育を推進します。 また、地域とも連携を図り、地域ぐるみでの防災教育の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	（学校教育課） 各校が工夫して、防災避難訓練を実施することができた。また、東日本大震災の教訓を活かすため市内3校が消防庁事業に参加し、語り部の講演を聞いたり、体験活動をしたりして、防災への意識を高めることができた。また、市内すべての4年生児童を対象にジュニア防災検定に参加した。				
		B	（子育て支援課） 園においては毎月避難訓練を実施しました。 地域ぐるみの取組としては、出初式に参加し、防災に関する話を聞いたり、消火訓練等を見学したりする機会を設けていましたが、令和5年度は能登半島地震発生のため出初式を規模縮小したことにより、こども園からの参加はありませんでした。				
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		（学校教育課） 昨年度1月に発生した能登半島地震から学び、より一層充実した防災避難訓練を実施します。今年度も消防庁事業を活用し、市内各小中学校の防災意識を高めます。市内全4年生児童がジュニア防災検定に申込み、一人ひとりの防災への意識を高めるとともに、防災に関する知識を身につけます。 （子育て支援課） 引き続き園においては毎月の避難訓練の実施等防災教育を実施していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

道路公園課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	子どもの交通安全を確保するための活動の推進
施策・事業名	交通安全教育事業の推進
施策・事業概要・今後の方向	学校・園において、教育委員会・泉佐野警察署と協力し、児童に対し交通安全教育を実施します。子どもが正しい交通ルールを学び、交通事故の防止につながるよう啓発活動を引き続き推進します。 また、交通安全講習会等において、高齢者ドライバーに対して運転免許証の自主返納を含めた交通安全啓発を推進していきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：交通安全運転者講習会（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	8	8	8	8	8
		実績値	0	0	8	8	
		②指標：交通安全教室実施回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	16	16	16	16	16
		実績値	0	16	21	22	
		③指標：啓発キャンペーン実施箇所数（箇所／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	3	3
		実績値	0	0	0	3	
		④指標：啓発旗掲示日数（日／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	20	20	20	20	20
		実績値	20	20	20	20	
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	交通安全運転者講習会は、コロナ以前のように対面講習会にて実施しました。 交通安全教室は、小学校13校・公立こども園3園・私立こども園5園においては、雨天以外は校庭における実地指導を実施しました。また、中学校については、講堂にて交通安全教室を実施しました。 啓発キャンペーンは、泉佐野駅前・日根野駅前及び市内商業施設において啓発物品の配布を実施しました。				
	B						
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和5年度は、コロナ以前と同様に講習会、交通安全教室、啓発キャンペーンを実施できました。令和6年度についても引き続き計画値の達成に向けて事業を実施していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課	
基本目標		子育てを支援する生活環境の整備			
施策の方向		子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進			
施策・事業名		防犯対策事業の推進			
施策・事業の概要・今後の方向		コミュニティ組織による地域安全活動の充実や防災活動の促進を図ります。（事務局＝泉佐野警察署生活安全課）			

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 各小学校の通学路に防犯カメラを増設し、不審者の抑止につながりました。スクールガードリーダー（警察OB）を配置し、見守り活動が充実しました。予定通り、市内一斉パトロールを年3回実施でき、地域の見守り活動体制の構築につなげるとともに、地域ぐるみで子どもを見守る意識を高めることができました。				
		B					
		【令和6年度における取り組みなど】 各小学校の通学路に防犯カメラを増設し、不審者のさらなる抑止につなげます。スクールガードリーダー（警察OB）を配置し、見守り活動を充実させるとともに、地域の見守り活動体制の構築につなげます。 市内一斉パトロールを年3回実施し、地域の見守り活動体制の構築につなげるとともに、地域ぐるみで子どもを見守る意識をさらに高めます。					
令和5年度	改善（A）						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	被害に遭った子どもの保護の推進
施策・事業名	関係機関と連携した被害児童・生徒への支援
施策・事業概要 の方向	要保護児童対策地域協議会が中心となって関係機関との連携のもと子どもの権利を守る取り組みを推進します。 子どもが安心して暮らし成長できる環境づくりを地域が一体となって行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：要保護児童対策地域協議会実務者会議開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	9	9	9	9	9
		実績値	9	14	15	15	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	子育て支援課、教育委員会、健康推進課、保健所、子ども家庭センターなどの機関で組織する要保護児童対策地域協議会を通じて、子育てに関する法制度や情報を共有し、要保護児童に対し適切な支援を行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 要保護児童対策地域協議会を通じて、子育てに関する法制度や情報を共有し、要保護児童に対する適切な支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

学校教育課

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	被害に遭った子どもの保護の推進
施策・事業名	教育支援事業の充実
施策・事業概要・今後の方向	教育支援センターのスタッフやメンタルフレンドが児童・生徒の活動を支援し、体験活動を効果的に取り入れるなど、社会的自立に向けて様々な経験を積めるような事業を展開します。 また、個別に支援が必要な児童に対しても、居場所をつくり、適切な支援を行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 児童・生徒それぞれの課題に対して、教育支援センターのスタッフやメンタルフレンド、不登校支援員が個に応じた支援を行い、不登校の児童生徒のこころの居場所づくりができました。 行事や体験活動も充実し、教育支援センターの入室生が様々な経験を積むことができました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 教育支援センタースタッフやメンタルフレンド、不登校支援員が、入室生に寄り添って活動し、こころの居場所づくりを推進します。 学校と教育支援センターとの連携を密にして、学校生活に戻っていけるように支援します。 家庭とも連携し、入室生の生活のリズムを整え、社会的自立ができるように支援します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	子育てを支援する生活環境の整備
施策の方向	被害に遭った子どもの保護の推進
施策・事業名	子どもフリーダイヤル
施策・事業の概要・今後の方向	満18歳未満の児童を対象に、家庭児童相談員が電話で様々な悩み相談を受けます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：相談受理件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	32	40	48	56	64
		実績値	21	16	53	38	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 家庭児童相談室内に設置している子どもフリーダイヤルにより、児童虐待相談、育成相談及び保健相談など児童に関する相談受付を行いました。 虐待対応時には、子どもフリーダイヤルを記載したカードを子どもに配付し、再発防止に努めました。				
	改善（A）		【令和6年度における取り組みなど】 相談の中にも虐待が疑われるケースが潜在していることを念頭に置き、相談者の立場を尊重して相談対応を進め、適切な支援に努めます。 また、子どもからの悩み相談を受けることができるよう、子どもフリーダイヤル等、相談先の周知に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		まちの活性課				
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進							
施策の方向	多様な生き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し							
施策・事業名	労働時間短縮への働きかけ							
施策・事業概要・今後の方向	市内の事業所を対象に、労働時間の短縮を促進するため、国・府の普及パンフレットや資料の配布などにより週40時間労働制に関する啓発・広報活動に努めます。							
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 大阪府・大阪労働局・労働基準監督署などが発行しているポスター、パンフレットやセミナー・研修会の開催のチラシなどを当課窓口に掲示・配架を行いました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 労働時間の短縮を促進するため、普及パンフレットや資料の配布等広報活動により週40時間労働制に関する啓発を行い、普及・定着に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		まちの活性課			
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進					
施策の方向		多様な生き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し					
施策・事業名		フレックスタイムや在宅就労等の勤務形態の多様化への働きかけ					
施策・事業概要・今後の方向		市内の事業所を対象に、家庭と仕事の両立を図るため、フレックスタイム制や子育て期における短縮時間勤務、在宅就労など多様な勤務形態導入への働きかけに努めます。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	大阪府・大阪労働局・労働基準監督署などが発行しているポスター、パンフレットやセミナー・研修会の開催のチラシなどを当課窓口に掲示・配架を行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 家庭と仕事の両立を図るためのフレックスタイム制や子育て期における短縮時間勤務、在宅就労など、多様な勤務形態導入にかかるパンフレット・ポスターによる広報活動、研修会などを通じ、普及・定着に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進
施策・事業名	育児休業制度・介護休暇制度などの普及・啓発
施策・事業概要・今後の方向	市内の事業所を対象に、育児休業や介護休暇などを取得しやすい環境づくりのため、パンフレットの配布やポスターの掲示、研修会などを通じ、各制度の普及・定着に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					

令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 大阪府・大阪労働局・労働基準監督署などが発行しているポスター、パンフレットやセミナー・研修会の開催のチラシなどを当課窓口に掲示・配架を行いました。	
		B		
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 育児休業や介護休暇などを取得しやすい環境づくりのため、パンフレット・ポスターによる広報活動、研修会などを通じ、普及・定着に努めます。		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

まちの活性課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進
施策・事業名	再雇用制度導入の働きかけ
施策・事業の概要・今後の方	育児休業制度や介護休暇制度など各種制度の定着と利用しやすい環境づくりとともに、再雇用制度の導入の働きかけのための啓発・広報活動に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	各種制度の定着と利用しやすい環境づくりのための啓発・広報活動として大阪府・大阪労働局・労働基準監督署などが発行しているポスター、パンフレットやセミナー・研修会の開催のチラシなどを当課窓口に掲示・配架を行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
【令和6年度における取り組みなど】 育児休業や介護休暇などを取得しやすい環境づくりのため、パンフレット・ポスターによる広報活動、研修会などを通じ、普及・定着に努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

まちの活性課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進
施策・事業名	地域就労支援事業
施策・事業概要 ・今後の方向	就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応しています。 また、バウチャー（資格取得支援）事業の実施、合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：就労相談件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	338	354	370	385	396
		実績値	73	94	108	159	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	市内3カ所の地域就労支援センターにおいて、のべ159件の就労相談を受け、13名の新規就労に繋がりました。バウチャー（資格取得支援）事業については5名から相談があり、3名を助成して資格取得に繋がりました。				
	改善（A）	C					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応します。併せて、就労支援コーディネーターの資格を持っていない職員は取得すべく講座を受講します。また、バウチャー（資格取得支援）事業に関して受講メニューを増やしつつ、就職困難者の就労支援に取り組みます。その他合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課・人権推進課・子育て支援課						
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進								
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進								
施策・事業名	学校・園における男女平等教育の推進								
施策・事業概要・今後の方向	学校・園における男女平等教育の推進を図るため、教職員等への研修や子どもたちへ授業を行い、啓発活動に努めます。								
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：講師等派遣数（回／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	20	20	20	25	25		
		実績値	9	10	27	33			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 （学校教育課） 教職員に対して、人権教育研修において男女平等についての情報提供等を実施、啓発しました。各校において適切な男女平等教育が実践できるよう、人権教育計画を作成しました。				
				（人権推進課） A	（子育て支援課） さまざまな場面で男女平等教育の推進及び啓発を行いました。				
				（学校教育課・子育て支援課） B	（人権推進課） 小学校からの授業の依頼が年度当初よりあり、講師派遣が前年度の26回から33回と増加となった。計画値の25回に対し、十分達成できました。数値については、市登録の男女共同参画ゲストティーチャーの小学校へ33回派遣しました。				
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】								
	（学校教育課） 年度初めに人権教育推進委員研修を実施し、各校が男女平等教育を適切に実施していけるよう学校教育計画を見直しました。校園長人権教育研修、人権教育研修講座においても、男女平等教育をとりあげ、すべての教職員が学びを深めるよう努めます。また、市人研とも連携し、各校の実践を共有します。								
	（子育て支援課） 園活動の中で男女平等教育の推進及び啓発を行うとともに、職員の研修参加を促進します。								
	（人権推進課） 男女共同参画ゲストティーチャーの小学校への派遣依頼数が更に増加すると見込まれます。それに伴い、派遣講師の人数の減少と高齢化が重要課題であり、今後は若年層の講師の育成に尽力していく必要があります。								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		全課			
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進					
施策の方向		仕事と子育ての両立の推進					
施策・事業名		男女共同参画社会を目指す学習の実施					
施策・事業の概要・今後の方向		男女共同参画社会を目指すための学習機会の充実に努めます。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：講座・セミナー開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6	6	6	6	6
		実績値	8	5	5	3	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 令和5年度は、前年度同様に講座は12回開催しました。ただしこの事業の「男女共同参画社会を目指す学習」に関しては、3回開催となり、計画値を僅かではあるが下回る結果となりました。				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 前年度に参加人数が高かった「男女共同参画社会を目指す学習」については引き続き開催し、新たにこの掲げる事業の学習機会の充実に図り、あらゆる人への周知啓発に努めていきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		人権推進課			
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進					
施策の方向		仕事と子育ての両立の推進					
施策・事業名		性別による固定的な役割分担意識の解消					
施策・事業の概要・今後の方向		男女がともに仕事と家庭責任を両立しながら、自分らしい生き方を選択できる社会の創出をめざして、性別による固定的な役割分担意識の解消のための啓発及び事業を推進します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：人権啓発情報誌発行回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	3	3
		実績値	3	3	3	3	
		②指標：図書・雑誌の貸出冊数（冊／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	140	140	140	140	140
		実績値	118	40	73	72	
		③指標：図書・雑誌延利用者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	60	60	60	60	60
		実績値	66	20	32	42	
令和5年度	評価（C）	担当課評価	人権啓発情報誌発行数は、例年通り年3回発行しています。図書の貸し出しについては、前年度とほぼ同様です。				
		C					
令和5年度	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 情報誌は通常通り年3回発行予定です。令和3年4月以降、いずみさの女性センターが外部委託となり、センターに職員は常駐していません。図書については、新規の図書を購入をしていないので、図書館との連携を検討しています。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

人権推進課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進
施策・事業名	男性向け家庭生活講座等の開催
施策・事業概要・今後の方向	男女共同参画意識の普及・啓発の推進とともに、男性の家事や子育てなど家庭生活への参加を促進するため、男性向けの料理教室や育児教室など家事や子育てに関する知識・技能が身につけられる学習機会の充実に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：講座等開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	3	3
		実績値	4	4	4	8	
		②指標：講座等参加者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	45	45	45	45	45
		実績値	27	35	52	82	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	男性（父親）向けの啓発講座を目標値以上に開催できました。また、実績値も増加して回数、参加数とも目標値を上回りました。				
		A					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		この掲げる事業の学習機会の充実を図り、あらゆる人への周知啓発に努めていき、回数及び参加者数の増加を目指します。					

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

まちの活性課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	仕事と子育ての両立の推進
施策・事業名	男性の育児休業・介護休暇取得に向けた事業主への働きかけ
施策・事業の概要・今後の方	市内の事業所を対象に、子育ての社会的役割の重要性や家庭における男女共同責任の認識を浸透させるための学習機会の充実とともに、育児休業や介護休暇など諸制度の男性の利用促進について啓発・広報活動に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	大阪府・大阪労働局・労働基準監督署などが発行しているポスター、パンフレットやセミナー・研修会の開催のチラシなどを当課窓口に掲示・配架を行いました。				
	改善（A）	B					
		【令和6年度における取り組みなど】 子育ての社会的役割の重要性や家庭における男女共同責任の認識を浸透させるための学習機会の充実とともに、育児休業や介護休暇など諸制度の男性の利用促進のためのパンフレット・ポスターによる広報活動、研修会などを通じ、普及・定着に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進								
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減								
施策・事業名	こども医療費助成事業								
施策・事業の概要・今後の方向	中学校卒業年度末までの子どもの医療費を助成することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを行います。								
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	150,800	152,300	152,300	152,300	152,300		
		実績値	117,526	129,124	134,709	153,553			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和4年10月より助成対象を18歳年度末までに拡大し、制度の充実を図りました。対象者の医療費を一部助成することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図るとともに、生活の安定と児童の健全な育成に寄与することができました。（参考：令和元年度実績値 助成対象件数150,755件）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 子育て家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 4 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減
施策・事業名	ひとり親家庭医療費助成事業
施策・事業の概要・今後の方	ひとり親家庭に対し医療費の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図り、健康の保持と生活の安定を促進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）						
		計画値：過去実績伸び率ベース						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	28,600	28,900	28,900	28,900	28,900	
		実績値	25,043	27,034	26,734	25,864		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】				
				担当課 評価	ひとり親家庭の医療費の一部を助成することにより、受診を容易にし、ひとり親家庭の健康保持や生活の安定が図られました。 （参考：令和元年度実績値 助成対象件数28,348件）			
改善（A）	C							
	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年11月の児童扶養手当の所得制限緩和に伴い、ひとり親家庭医療費助成事業においても受給者数の増加が見込まれます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

地域共生推進課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減
施策・事業名	障害者医療費助成事業
施策・事業概要・今後の方向	障害のある児童の医療費を助成することで、その保護者の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを行います。制度の普及・啓発と内容の充実に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：障害者医療費助成件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	220	231	242	254	266
		実績値	359	324	194	108	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 20歳未満の3～4級の身体障害者手帳所持者及び中度の知的障害者を対象とする心身障害児医療費助成により、医療費の一部を助成しました。 実績の減少については、子ども医療費助成の対象年齢が引き上げられたことにより、心身障害児医療から子ども医療へ移行する者が発生したことが主要因と考えられます。				
		C					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 保護者の経済的負担の軽減を図るため、引き続き手帳取得時の制度周知や制度の普及・啓発活動に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進						
施策の方向		子育てにかかる経済的負担の軽減						
施策・事業名		児童手当支給事業						
施策・事業の概要・今後の方向		子育て家庭における生活の安定と児童の健全な育成を図るため、児童を養育する人に手当を支給する事業です。 制度の周知を徹底し、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	7,000	6,900	6,800	6,700	6,600	
		実績値	6,826	6,687	6,378	6,250		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 児童手当及び特例給付の受給に際しては申請が必要となりますが、市民課の協力による出生届受理時の案内や担当課の住基情報を用いた確認作業により、対象となる方に適切に支給できました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年10月から制度改正があり、対象児童が拡充するため、受給者数が増加する見込みです。 主な制度改正の内容としては、①所得制限の撤廃、②支給対象児童を高校生年代まで延長、③多子加算額の変更および多子加算方法の見直し、④支払月を年3回から年6回に変更となります。 今後も家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進							
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減							
施策・事業名	児童扶養手当支給事業							
施策・事業概要の方向	父母の離婚などによりひとり親家庭となった場合に児童を監護・養護している親等に手当を支給します。 対象者が適切に手当を受給できるよう制度を周知し、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	897	879	879	879	879	
		実績値	890	884	837	832		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 制度を周知することで、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進しました。 （参考：令和元年度 受給者数897人）			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年11月から制度改正があり、所得制限額及び第3子以降加算額が変更となるため受給者が増加する見込みです。 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担軽減の為制度の周知に努め、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		地域共生推進課			
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進					
施策の方向		子育てにかかる経済的負担の軽減					
施策・事業名		特別児童扶養手当支給事業					
施策・事業概要の方向		重度又は中度の障害がある20歳未満の児童を養育している父母、あるいは父母に代わってその児童を養育している人に対して手当を支給する事業です。 窓口や市ホームページ等での制度の周知・広報を行い、申請の勧奨に努めます。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：特別児童扶養手当受給者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	251	253	255	257	259
		実績値	236	235	235	252	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	精神又は身体に障がいのある児童を監護している父母又は父母に代わって養育している方に対して手当を支給しました。児童に対して3手帳（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳）を交付する際には必ず手当の申請について案内しています。 また、「障害福祉のしおり」や市ホームページ等で広報に努めた。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 令和6年度においても、引き続き申請の勧奨及び広報に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課			
基本目標		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進					
施策の方向		子育てにかかる経済的負担の軽減					
施策・事業名		小・中学校の就学援助					
施策・事業の概要・今後の方向		経済的な理由で公立小・中学校の就学が困難な家庭に、学用品費・通学用品費・学校給食費など学習に必要な費用の一部を援助します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立小中学校に就学している児童生徒の保護者に対して、必要な費用の援助を行いました。 令和2年度からオンライン学習通信費を新たな援助項目に追加し、援助の拡大を行いました。 令和4年度より、就学援助の基準額を令和4年4月1日現在の生活保護基準額の1.5倍から2.0倍へ変更を行いました。 （申請者数：1,790名 認定者数：1,677名）				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 オンライン学習通信費の援助対象を個人から世帯に変更し、より分かりやすい就学援助制度の周知に努めます。さらに令和6年度より、従来の書面申請に加え、オンライン申請の受付を開始します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減
施策・事業名	私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金事業
施策・事業の概要・今後の方	「幼児教育・保育の無償化」に伴い、経済的負担が増加する世帯に対して負担増額分に見合う金額を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：対象者数（人／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	26	20	20	20	20
		実績値	12	16	16	13	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯並びに申請児童が第3子以降の世帯の補助条件を満たした世帯に対して、入園料等の負担軽減を図るため「私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金」として、令和5年度は対象者13人に対して630,000円支給しました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 対象保護者の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金の周知に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進							
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減							
施策・事業名	給食費無償化事業							
施策・事業概要・今後の方向	市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている方については市の独自事業として給食費を徴収せず、保護者の経済的負担の軽減を図ります。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立・私立認定こども園、私立幼稚園、私立保育園に通う市内在住のすべての3歳児以上に対し、市単独事業として実施しました。			
				A				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進							
施策の方向	子育てにかかる経済的負担の軽減							
施策・事業名	保育料の軽減措置							
施策・事業概要・今後の方向	国の基準に準じ年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置を実施し、経済的負担の軽減を図ります。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 国の基準に準じ、年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置を実施しました。 また、事業の継続に加え、令和5年4月からは第2子の保育料を現行の国基準の半額から市独自政策として無償にすることにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。			
				A				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も国等の動向を見て、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るよう努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	児童虐待防止対策の充実
施策・事業名	要保護児童対策地域協議会
施策・事業の概要・今後の方向	要保護児童及びその家族を取り巻く様々な問題について、関係機関の連携のもとと妊娠期から子育て期にわたる一貫した支援を行い児童虐待の早期発見・早期対応に繋がります。また、講演会・研修会や啓発活動の実施により要保護児童対策地域協議会の機能強化を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：実務者会議開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	9	9	9	9	9
		実績値	9	14	15	15	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 子育て支援課、教育委員会、健康推進課、保健所、子ども家庭センターなどの機関で組織する要保護児童対策地域協議会を通じて、子育てに関する法制度や情報を共有し、要保護児童に対し適切な支援を行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 要保護児童対策地域協議会を通じて、子育てに関する法制度や情報を共有し、要保護児童に対する適切な支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	児童虐待防止対策の充実
施策・事業名	養育支援訪問事業
施策・事業の概要・今後の方向	専門的知識のある助産師や子育て経験のある子ども家庭サポーターが訪問し、育児の相談に応じ、きめ細かな助言を行います。 対象者へ事業の周知を図り、利用を促進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：対象者数（人） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	20	20	20	20	20
		実績値	6	4	7	7	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 養育支援の必要性のある家庭に対し、専門的知識及び経験を有する者が訪問し、育児支援に関する相談、指導、助言等を行いました。 訪問対象者数は計画値を大幅に下回っていますが、支援を要する家庭に対する供給量（支援者数）は確保できています。 令和5年度支援者派遣延べ人数44人				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 養育支援の必要性のある家庭に対し、専門的知識及び経験を有する者が訪問し、育児支援に関する相談、指導、助言等を行います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 健康推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	児童虐待防止対策の充実
施策・事業名	乳児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）
施策・事業概要・今後の方向	乳児がいる家庭に対し、保健、医療、福祉等の関係機関が連携を図りながら訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き子育て支援の情報を提供し、適切なサービスを提供していきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：訪問件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	725	720	715	711	706
		実績値	654	592	599	622	
		②指標：乳児全戸訪問事業実施率（％／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0
		実績値	94.4	94.1	97.9	94.8	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
実績値							
令和5年度	評価（C）	担当課評価	産後の不安や困難な状況を支援するために実施をしました。相談内容により子育て支援課や医療機関、関係団体などとの連携をし不安の軽減を図るとともに、切れ目ない支援を行いました。				
		B					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		乳児全戸訪問を目指し、子育てに関する様々な不安や悩みを解消できるように子育て支援の情報を提供し、保健、医療、福祉等の関係機関と情報共有を図りながらサービスを提供していきます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課・子育て支援課			
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進						
施策の方向	児童虐待防止対策の充実						
施策・事業名	教職員・保育教諭等に対する研修の充実						
施策・事業の概要・今後の方向	学校・園においても、虐待の早期発見、適切な対応に結びつくよう教職員・保育教諭等に対する研修の充実を図ります。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：虐待をテーマとした研修会開催回数（回／年）No.31とは別の指標					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	3	3	3	3
		実績値	1	5	3	2	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】			
				担当課評価	（学校教育課） 不登校対策サポート委員会等において、児童虐待に関する研修・学習会を行いました。特に、長期休業前には意識の向上を図りました。 （子育て支援課） 要保護児童対策地域協議会やこども園で講演会や学習会を実施しました。		
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】			
（学校教育課） 児童虐待防止に関する研修を充実させ、教職員が虐待の早期発見、適切な対応ができるようにさらに努めます。 （子育て支援課） 引き続き研修を充実させ、虐待の早期発見、適切な対応ができるよう努めます。							

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		地域共生推進課				
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進						
施策の方向		障害児施策の充実						
施策・事業名		自立支援給付事業(障害児対象分)の推進						
施策・事業概要・今後の方向		障害のある児童が地域において自立した生活を送ることができるよう、訪問系サービス(居宅介護・行動援護・重度障害者等包括支援)、短期入所サービス、および必要に応じてその他の障害福祉サービスを推進します。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：居宅介護利用者数(障害児分)(人/年)						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	14	15	16	17	18	
		実績値	15	12	17	15		
		②指標：短期入所利用者数(障害児分)(人/年)						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	3	4	4	5	5	
		実績値	3	1	6	8		
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	【令和5年度評価】 居宅介護については、コロナ禍の影響からは脱しつつあるが、ヘルパー不足の影響により伸びが鈍化している。短期入所については、グループホーム併設の短期入所事業所が利用できるようになり、以前よりは利用しやすくなっている。			
				B				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 障害のある児童が自立した生活を過ごせるよう、また児童を養育している世帯の生活の安定をはかるため、訪問系サービス・短期入所サービス及びその他の障害福祉サービスの利用推進に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		地域共生推進課				
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進						
施策の方向		障害児施策の充実						
施策・事業名		社会参加に向けた支援体制の充実						
施策・事業の概要・今後の方向		障害のある児童が積極的に外出や地域交流ができるよう、余暇活動の支援として移動支援事業を推進します。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：移動支援利用者数（障害児分）（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	33	36	39	42	46	
		実績値	11	11	11	9		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	担当課評価	移動支援については、外出の支援になるため、コロナ禍の影響をまだ受けていることもあるが、単価の安さから、ヘルパー不足の影響がより顕著に出ている。			
				C				
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 障害のある児童が積極的な外出や地域交流を行うため、また児童を養育している世帯の生活の安定をはかるため、サービスの利用推進に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		地域共生推進課			
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進					
施策の方向		障害児施策の充実					
施策・事業名		自立支援協議会を中心とした地域生活の支援					
施策・事業の概要・今後の方向		地域の障害福祉に関する協議の場として、自立支援協議会（全体会・定例会・専門部会）を運営し、関係機関のネットワークを構築する。また、各専門部会の内容充実に努めます。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	地域の障害福祉に関する協議の場として、全体会・専門部会を運営しています。令和5年度においては、全体会として“障害・高齢・介護・生活困窮など市域の課題を関係者間で共有し、市への政策提言を話し合う場”である「地域包括ケア会議全体会」を開催しました。専門部会（就労支援部会・相談員連絡会・地域移行部会）については複数回開催し、各関係機関との連携強化に取り組みました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き関係機関の連携強化に取り組むとともに、各専門部会の内容の充実に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	障害児施策の充実
施策・事業名	はぐノートの普及促進
施策・事業の概要・今後の方向	保護者と関係機関が子どもの情報を共有することにより、配慮を必要とする子どもが切れ目のない一貫した支援を受けることができるように「はぐノート」の普及促進に努めます。また、「はぐノートの会」を定期的開催し、記入支援・保護者支援の充実を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：はぐノート延べ配布数（冊）					
		（計画値：令和元年度から令和2年度の伸び率1.2倍×前年度実績値）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	596	715	858	1,029	1,234
		実績値	497	828	971	1,115	
		②指標：「はぐノートの会」開催数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	10	11	11	11	11
		実績値	8	9	12		
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	園の巡回相談や懇談会で必要に応じてはぐノートの紹介、配付を進めてきました。また、記入の支援として定期的に「はぐノートの会」を開催することで、保護者と支援者、保護者同士の共有の機会となりました。「はぐノートの会」については、毎月開催し、また、必要に応じて個別対応により記入支援を行いました。延べ配付数については各施設の在庫も含め1,115冊で計画値を上回りました。				
		A					
	改善（A）	【令和5年度評価】					
		【令和6年度における取り組みなど】 関係機関と連携しながら、はぐノートの普及促進に努めます。また、令和6年度より「はぐノートの会」を年16回開催し、記入支援・保護者支援の充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進							
施策の方向		障害児施策の充実							
施策・事業名		児童発達支援事業							
施策・事業の概要・今後の方向		障害のある就学前児童を対象にした児童福祉法に基づく通所施設です。身近な地域で必要な訓練等を受けられるよう、大阪府と連携し、サービス量を確保するとともに療育内容の充実を図ります。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人日分／月）※第2期障害児福祉計画、6年度の計画値は第3期障害児福祉							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	899	1,012	1,074	1,147	1,222		
		実績値	769	1,051	1,109	1,202			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
				担当課評価	市立児童発達支援センターをはじめとした児童発達支援事業所において、月平均利用人数は1,202人日で年間延べ14,435人日の利用がありました。				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 障害のある就学前児童を対象に身近な地域で必要な訓練等を受けられるよう、大阪府と連携し、サービス量を確保するとともに、療育内容の充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課				
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進					
施策の方向		障害児施策の充実					
施策・事業名		放課後等デイサービス事業					
施策・事業概要・今後の方向		障害のある学校通学中の児童が放課後や長期休暇中に通う療育機能・居場所機能を備えた児童福祉法に基づく通所施設です。 身近な地域で必要な訓練等を受けられるよう、大阪府と連携し、サービス量を確保するとともに療育内容の充実を図ります。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人日分／月）※第2期障害児福祉計画、6年度の計画値は第3期障害児福祉計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	2,984	3,340	3,557	3,784	3,382
		実績値	2,677	3,042	3,107	3,578	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 民間の放課後等デイサービスにおいて、月平均利用数は3,578人日で年間延べ42,941人日の利用がありました。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 障害のある学校通学中の児童が放課後や長期休暇中に身近な地域で必要な訓練等を受けられるよう、大阪府と連携し、サービス量を確保するとともに療育内容の充実を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進							
施策の方向	障害児施策の充実							
施策・事業名	児童発達支援センター							
施策・事業の概要・今後の方向	地域の中核的な療育支援施設として、関係機関との連携・調整を図りながら、センター機能の充実に努めます。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 児童発達支援センター主催の研修会を6回開催しました。 市独自の事業として医療的ケア児訪問支援事業を実施し、2ケースで17回訪問しました。 また保育所等訪問支援事業の利用は15ケースで74回あり、センター機能の充実に努めました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 地域の中核的な療育支援施設として、保育所等訪問支援の充実、事業所連絡会の開催、地域支援研修会の開催等、関係機関との連携・調整を図りながら、センター機能の充実に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	学校教育課																		
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進																			
施策の方向	障害児施策の充実																			
施策・事業名	小学校介助事業・中学校介助事業																			
施策・事業の概要・今後の方向	障害の状態が重い児童生徒の入学により、介助員の必要性が増えています。小学校介助員、中学校介助員、医療的ケア看護師、手話通訳者それぞれ、児童生徒の在籍状況に合わせて配置する予定です。																			
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：小学校介助員配置数（人／年）																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>計画値</td> <td>87</td> <td>88</td> <td>89</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>87</td> <td>90</td> <td>81</td> <td>82</td> <td></td> </tr> </table>		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計画値	87	88	89	90	90	実績値	87	90	81	82	
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度													
		計画値	87	88	89	90	90													
		実績値	87	90	81	82														
		②指標：中学校介助員配置数（人／年）																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>計画値</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </table>		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計画値	15	15	15	15	15	実績値	16	18	15	15	
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度													
		計画値	15	15	15	15	15													
		実績値	16	18	15	15														
		③指標：手話通訳者配置数（人／年）																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>計画値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計画値	2	2	0	0	0	実績値	2	1	0	0	
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度													
		計画値	2	2	0	0	0													
		実績値	2	1	0	0														
		④指標：医療的ケア看護師配置数（人／年）																		
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>計画値</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </table>		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計画値	1	3	3	3	3	実績値	1	1	3	3	
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度													
		計画値	1	3	3	3	3													
		実績値	1	1	3	3														
⑤指標：介助員研修会開催数（回／年）																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>計画値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </table>		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計画値	2	2	2	2	2	実績値	3	2	1	2			
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度															
計画値	2	2	2	2	2															
実績値	3	2	1	2																
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】																		
		<table border="1"> <tr> <td>担当課 評価</td> <td>小学校介助員82名、中学校介助員15名、手話通訳者0名、医療的ケア看護師を3名を配置するとともに、子どもとの関わり方やインクルーシブ教育をテーマに介助員研修（2回）を実施しました。支援教育の充実を図りました。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> </tr> </table>	担当課 評価	小学校介助員82名、中学校介助員15名、手話通訳者0名、医療的ケア看護師を3名を配置するとともに、子どもとの関わり方やインクルーシブ教育をテーマに介助員研修（2回）を実施しました。支援教育の充実を図りました。	C															
担当課 評価	小学校介助員82名、中学校介助員15名、手話通訳者0名、医療的ケア看護師を3名を配置するとともに、子どもとの関わり方やインクルーシブ教育をテーマに介助員研修（2回）を実施しました。支援教育の充実を図りました。																			
C																				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】																		
		支援を要する児童生徒への対応のため、各校のニーズに合わせた介助員の必要性が増えています。また、令和5年度に続き、支援教育サポーターを配置し、継続的且つきめ細やかな介助の実効性を高めていきます。小学校に支援教育サポーター14名、介助員66名、中学校に支援教育サポーター4名、介助員9名、その他、医療的ケア看護師2名を配置します。また、令和7年度にも医療的ケアが必要な児童が入学することが想定されているため、医ケア看護師の拡充を図ります。																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

社会福祉協議会・地域共生推進課

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	障害児施策の充実
施策・事業名	障がい児者ふれあい交流会
施策・事業の概要・今後の方向	障がい児者との交流会を継続する事で、ノーマライゼーションの考え方の普及・啓発に繋げていきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	①令和5年7月29日（土）にポッチャスクール、9月10日（日）にポッチャ大会をそれぞれ実施しました。ポッチャスクール、ポッチャ大会は大阪体育大学教育学部准教授の曾根裕二氏を講師として招き、ルールや投球方法について講義を受けました。当事者団体や放課後等デイサービスの子どもや外国籍の方など幅広い方の参加があり、ポッチャを通じて障がいに関わらず、皆さんと交流する機会となりました。				
		B	②令和5年12月16日（土）社協ふれあいクリスマス会を実施しました。参加者は障がい児、教育委員会・子育て支援課の相談に関わる児童などで、対象児童33名、その保護者および支援者45名、兄弟22名の計100名が参加されました。社協ボランティア、関連各課・団体で構成される実行委員と民生委員協議会障害部会、社協で募集したボランティアで運営を行いました。プログラムはプロのパフォーマーによる、アコーディオンの演奏とパントマイムの披露、ボランティアグループ「おはなし会ルピナス」による、絵本の読み聞かせとパネルシアターや歌遊びを行っていただきました。出し物のあとはボランティアグループ「リフォームなでしこ」が作成したプレゼントの配布を行いました。退場時には就労継続支援B型事業所「Work&Oasis花筏」が作成したカップケーキとクッキーの詰め合わせをプレゼントいただきました。				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		①令和6年8月17日（土）にポッチャスクール、9月1日（日）にポッチャ大会を開催予定です。また、ボランティア体験プログラムの一貫として、運営側としても募集を行い、ノーマライゼーションの普及啓発に繋がるよう内容を検討します。 ②令和6年12月14日（土）に社協ふれあいクリスマス会を実施予定です。					

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課 地域共生推進課・子育て支援課・人権推進課

基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
施策の方向	障害児施策の充実
施策・事業名	放課後・長期休暇等の日中活動の場及び療育の場の確保
施策・事業概要・今後の方	放課後等デイサービスや留守家庭児童会などで、障害のある子どもの放課後や夏休み等の長期休暇における日中活動の場の確保を図ります。 障害者地域生活支援事業の中で、障害のある児童の介護を行う人の疾病その他の理由により、日帰りショートステイの利用を希望する方のために、日中一時支援事業を推進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：日中一時利用者数（障害児分）（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	4	5	5	6	6	
		実績値	3	4	5	4		
		②指標：市内の放課後等デイサービス事業所数（か所）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	20	20	20	20	20	
		実績値	20	20	22	22		
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値							
	実績値							
令和5年度	評価（C）	B	担当課評価	（地域共生推進課） 障害者地域生活支援事業の中で障害のある児童の介護を行う人の疾病その他の理由により、日帰りショートステイの利用を希望する方のために、日中一時支援事業を推進しています。				
			（子育て支援課） 民間の放課後等デイサービス（22か所）において、年間延べ4,898人、42,941日の利用がありました。					
			（人権推進課） 障害のある人（子ども）の団体利用について、利用料の減免制度により活動を支援しました。 人権推進課所管施設の状況として、北部市民交流センター本館では3団体（アマカマ・ドゥ、もみじの会、さわって料理を楽しもう、南大阪カレッジ）、北部市民交流センター体育分館では6団体（アマカマ・ドゥ、ピンクイルカ、ラビット、ひまわりサロン、地域活動支援センター「ルリエ」、ファミリーバンドNHG）、南部市民交流センター本館では1団体（さらなプラス）、南部市民交流センター体育分館では1団体（泉州ぽっちゃクラブ）でした。					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】						
		（地域共生推進課） 障害のある児童の放課後や夏休み等の長期休暇における日中活動の場の確保を図るため、引き続きサービスの利用推進に努めます。						
		（子育て支援課） 放課後等デイサービスや留守家庭児童会など日中活動の場の確保を図ります。						
		（人権推進課） 事業を継続し、障害のある人（子ども）の団体利用を推進します。						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課				
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進						
施策の方向	障害児施策の充実						
施策・事業名	医療的ケア児とその家族の支援						
施策・事業概要・今後の方向	要保護児童対策地域協議会障害児支援部会を協議の場とし、医療的ケア児とその家族を地域で支えられるようにするため、地域の課題や対応策について意見交換や情報共有を図ります。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：医療的ケア実務者会議開催回数（回／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	3	4	4	4	4
		実績値	3	3	3	3	
		②指標：医療的ケアコーディネーター配置数（人）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	1	2	2	2	2
		実績値	1	2	2	4	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 医療的ケア児の支援に関する協議の場として位置付けている要保護児童対策地域協議会障害児支援部会の実務者会議を年3回開催し、具体的な事例を通じて、関係機関の役割や課題を出し合い、医療的ケア児及びその家族に対する支援について協議しました。 また、医療的コーディネーターは4人体制（保健師・保育士・社会福祉士）で体制強化を図りました。				
		A					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 各関係機関の情報を集約し、医療的ケア児の把握に努めるとともに、個別の事例を通じて、取り組むべき課題について協議を行い、具体的な施策や事業実施につなげていけるよう努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画
(第3次泉佐野市ひとり親家庭等自立促進計画)
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		就業支援の充実						
施策の方向		就業支援の充実						
施策・事業名		母子家庭自立支援教育訓練給付金及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業						
施策・事業概要・今後の方向		ひとり親家庭の父または母が就職に向けて市の指定する講座を受講した場合に受講料の一部を給付します。 対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	5	5	5	5	5	
		実績値	3	7	2	5		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 制度の周知を図り、対象者に対し、就職やスキルアップのための講座の受講料を一部給付することで、ひとり親家庭の就労支援を行いました。 （参考：令和元年度 給付件数5件）			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		就業支援の充実						
施策の方向		就業支援の充実						
施策・事業名		母子家庭高等職業訓練促進給付金等及び父子家庭高等職業訓練促進給付金等事業						
施策・事業概要・今後の方向		ひとり親家庭の父または母が経済的自立に効果的な資格を取得するために養成機関で就学する場合に、生活費の負担軽減の給付を行い、就業と修学の両立を支援します。対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	12	13	14	15	16	
		実績値	17	20	15	12		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 事業内容の周知を図り、生活相談を受ける等しながら、養成機関等で修学する者に給付することで、経済的自立へ向けての支援ができました。 （参考：令和元年度 給付金支給件数16件 修了一時金3件）			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課					
基本目標	就業支援の充実							
施策の方向	就業支援の充実							
施策・事業名	母子・父子自立支援プログラム策定事業							
施策・事業概要・今後の方向	転職や就労を希望するひとり親家庭の父または母を対象に個々に応じた目標や支援計画（プログラム）を策定し、ハローワークと連携しながら、ニーズに応じた、よりきめ細やかで継続的な就労支援を行います。 対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：プログラム策定件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	16	17	18	19	20	
		実績値	16	14	11	2		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 転職や就労を希望するひとり親家庭の父または母を対象に個々に応じた目標や支援計画（プログラム）を策定し、ハローワークと連携しながら、ニーズに応じたきめ細やかで継続的な就労支援を行いました。 前年度に比べ計画策定件数が減少し、目標値を大幅に下回りました。 （参考：令和元年度 策定件数12件）			
				D				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 児童扶養手当の現況届受付時に事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	就業支援の充実								
施策の方向	就業支援の充実								
施策・事業名	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援								
施策・事業の概要・今後の方向	よりよい条件での転職や就労を希望するひとり親家庭の親や子どもに対して、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座の受講料の一部を支給し、安定した就労に向けた支援をします。								
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	1	1	1	1	1		
		実績値	0	0	0	0			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 制度の周知に努めましたが、対象となる申請者がいませんでした。				
				C					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 児童扶養手当の現況届受付時に事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	就業支援の充実	
施策の方向	就業支援の充実	
施策・事業名	地域就労支援事業	
施策・事業概要の方向	就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応しています。 また、パウチャー（資格取得支援）事業の実施、合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。	
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：就労相談件数（件／年）
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】
		担当課
		評価
		C
		令和5年度
就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応します。併せて、就労支援コーディネーターの資格を持っていない職員は取得すべく講座を受講します。		
また、パウチャー（資格取得支援）事業に関して受講メニューを増やしつつ、就職困難者の就労支援に取り組みます。その他合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標	子育てをはじめとした生活面への支援						
施策の方向	子育てをはじめとした生活面への支援						
施策・事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
施策・事業の概要・今後の方向	子育てを手伝ってほしい人（利用会員）と「子育ての手助けができる人」（提供会員）が会員登録し、お互いに支え合う相互援助活動の橋渡しを行います。 事業の周知を図り、利用促進に努めるとともに、提供会員に対する研修の実施など組織の充実を図ります。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	380	380	380	380	380
		実績値	190	196	272	325	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	ホームページなどの広報やチラシの配布・掲示等により事業の周知を図ったことにより利用会員及び提供会員数は増加していますが、利用者数は計画値を下回っています。 提供会員養成講座を12月に開催し、提供会員の確保を図るとともに、提供会員に対するフォローアップ研修を実施し、提供会員の資質の向上を図ることができました。 （参考） 令和4年度 会員数 337人 （利用会員272人、提供会員55人、両方会員10人） 令和5年度 会員数 394人 （利用会員275人、提供会員59人、両方会員10人）				
		C					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		ホームページなどの広報やチラシの配布・掲示等により事業の周知を図り、会員（利用会員・提供会員）確保に努めます。 また、養成講座やフォローアップ研修の開催により提供会員の確保・資質の向上を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画 PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）			
基本目標	子育てをはじめとした生活面への支援						
施策の方向	子育てをはじめとした生活面への支援						
施策・事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)						
施策・事業概要・今後の方向	保護者の心身の不調や病気療養をはじめ冠婚葬祭等社会的な事由で緊急一時的に子どもを保護する事業です。 事業の周知を図り、サービスを必要とする方への利用促進に努めます。						
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者数（人日） ※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	15	15	15	15	15
		実績値	6	11	10	8	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 事業内容の周知を図り、サービスを必要とする方への利用促進を図りましたが、利用者数は計画値を下回りました。 令和5年度利用延べ児童数 ショートステイ 8件（相談件数9件） トワイライトステイ 利用なし		
				C			
				【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、サービスを必要とする方へ利用促進を図ります。令和6年度からは1人の児童につき年度中利用の合計を14日以内とし、新規の方が利用しやすいようにしました。近年はレスパイトによる相談が増加しており、他のサービスの併用も案内できるよう改善していきます。			
令和5年度	改善（A）						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	子育てをはじめとした生活面への支援								
施策の方向	子育てをはじめとした生活面への支援								
施策・事業名	母子生活支援施設入所措置事業								
施策・事業概要・今後の方向	母子家庭等において、様々な事情により子どもの養育が十分できない状況にあり、母子生活支援施設に子どもと一緒に入所し、生活の安定と自立を図る事業です。必要とされる方へ周知し、事業の利用を促進します。								
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度も令和4年度に引き続き入所措置の実績はありませんでした。 （参考：令和元年度 入所措置実績なし）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 母子家庭等の生活の安定と自立を支援するため、関係機関と綿密に情報共有や調整を行います。 また、支援を必要とする方が利用できるよう、広報等により利用の促進を図ります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標	経済的支援の充実						
施策の方向	経済的支援の充実						
施策・事業名	児童手当支給事業						
施策・事業概要・今後の方向	子育て家庭における生活の安定と児童の健全な育成を図るため、児童を養育する人に手当を支給する事業です。 制度の周知を徹底し、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	7,000	6,900	6,800	6,700	6,600
		実績値	6,826	6,687	6,378	6,250	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】			
				担当課評価	児童手当及び特例給付の受給に際しては申請が必要となりますが、市民課の協力による出生届受理時の案内や担当課の住基情報を用いた確認作業により、対象となる方に適切に支給できました。		
				B			
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		令和6年10月から制度改正があり、対象児童が拡充するため、受給者数が増加する見込みです。 主な制度改正の内容としては、①所得制限の撤廃、②支給対象児童を高校生年代まで延長、③多子加算額の変更および多子加算方法の見直し、④支払月を年3回から年6回に変更となります。 今後も家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標	経済的支援の充実						
施策の方向	経済的支援の充実						
施策・事業名	児童扶養手当支給事業						
施策・事業概要の方向	父母の離婚などによりひとり親家庭となった場合に児童を監護・養護している親等に手当を支給します。 対象者が適切に手当を受給できるよう制度を周知し、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進します。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	897	879	879	879	879
		実績値	890	884	837	832	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】			
				担当課評価	制度を周知することで、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進しました。 （参考：令和元年度 受給者数897人）		
				B			
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		令和6年11月から制度改正があり、所得制限額及び第3子以降加算額が変更となるため受給者が増加する見込みです。 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担軽減の為制度の周知に努め、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標		経済的支援の充実			
施策の方向		経済的支援の充実			
施策・事業名		こども医療費助成事業			
施策・事業の概要・今後の方向		中学校卒業年度末までの子どもの医療費を助成することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを行います。			

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	150,800	152,300	152,300	152,300	152,300	
		実績値	117,526	129,124	134,709	153,553		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】				
				担当課 評価	令和4年10月より助成対象を18歳年度末までに拡大し、制度の充実を図りました。 対象者の医療費を一部助成することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図るとともに、生活の安定と児童の健全な育成に寄与することができました。 （参考：令和元年度実績値 助成対象件数150,755件）			
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 子育て家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標	経済的支援の充実						
施策の方向	経済的支援の充実						
施策・事業名	ひとり親家庭医療費助成事業						
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭に対し医療費の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図り、健康の保持と生活の安定を促進します。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）					
		計画値：過去実績伸び率ベース					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	28,600	28,900	28,900	28,900	28,900
		実績値	25,043	27,034	26,734	25,864	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	ひとり親家庭の医療費の一部を助成することにより、受診を容易にし、ひとり親家庭の健康保持や生活の安定が図られました。 （参考：令和元年度実績値 助成対象件数28,348件）		
				C			
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年11月の児童扶養手当の所得制限緩和に伴い、ひとり親家庭医療費助成事業においても受給者数の増加が見込まれます。						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標		経済的支援の充実			
施策の方向		経済的支援の充実			
施策・事業名		大阪府母子・父子・寡婦福祉資金貸付金事業			
施策・事業の概要・今後の方向		ひとり親家庭及び寡婦からの個別相談に応じ、子どもの就学や親の技能習得などに要する資金の貸付手続きを行い、経済的自立を支援します。			

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：申請件数（件／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	17	17	17	17	17		
		実績値	22	7	9	3			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 日本学生支援機構の奨学金新制度が授業料減免と給付型奨学金のセットで申請できることになり、貸付事業としての申請件数は減少しました。 （参考：令和元年度 申請件数12件）				
				D					
				【令和6年度における取り組みなど】 ひとり親家庭及び寡婦からの個別相談に応じ、子どもの就学や親の技能習得などに要する資金の貸付手続きを行い、経済的自立を支援するよう努めます。 制度変更に伴い、目標値を見直す必要があります。					
令和5年度	改善（A）								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課	
基本目標	経済的支援の充実				
施策の方向	経済的支援の充実				
施策・事業名	小・中学校の就学援助				
施策・事業の概要・今後の方向	経済的な理由で公立小・中学校の就学が困難な家庭に、学用品費・通学用品費・学校給食費など学習に必要な費用の一部を援助します。				

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
令和5年度	評価(C)	【令和5年度評価】					
		担当課 評価 B	公立小中学校に就学している児童生徒の保護者に対して、必要な費用の援助を行いました。 令和2年度からオンライン学習通信費を新たな援助項目に追加し、援助の拡大を行いました。 令和4年度より、就学援助の基準額を令和4年4月1日現在の生活保護基準額の1.5倍から2.0倍へ変更を行いました。 (申請者数：1,790名 認定者数：1,677名)				
	改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 オンライン学習通信費の援助対象を個人から世帯に変更し、より分かりやすい就学援助制度の周知に努めます。さらに令和6年度より、従来の書面申請に加え、オンライン申請の受付を開始します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標	経済的支援の充実				
施策の方向	経済的支援の充実				
施策・事業名	私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金事業				
施策・事業概要・今後の方向	「幼児教育・保育の無償化」に伴い、経済的負担が増加する世帯に対して負担増額分に見合う金額を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：対象者数（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	26	20	20	20	20	
		実績値	12	16	16	13		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯並びに申請児童が第3子以降の世帯の補助条件を満たした世帯に対して、入園料等の負担軽減を図るため「私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金」として、令和5年度は対象者13人に対して630,000円支給しました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 対象保護者の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金の周知に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標	経済的支援の充実				
施策の方向	経済的支援の充実				
施策・事業名	給食費無償化事業				
施策・事業概要・今後の方向	市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている方については市の独自事業として給食費を徴収せず、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
	令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立・私立認定こども園、私立幼稚園、私立保育園に通う市内在住のすべての3歳児以上に対し、市単独事業として実施しました。			
			A				
		改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課
----------	-----	--------

基本目標	経済的支援の充実
施策の方向	経済的支援の充実
施策・事業名	保育料の軽減措置
施策・事業概要・今後の方向	国の基準に準じ年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置、保護者の寡婦（夫）控除のみなし適用を実施し、経済的負担の軽減を図ります。

計画（P） ↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 国の基準に準じ、年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置を実施しました。 また、事業の継続に加え、令和5年4月からは第2子の保育料を現行の国基準の半額から市独自政策として無償にすることにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も国等の動向を見て、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るよう努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	相談・情報提供体制の充実
施策の方向	相談・情報提供体制の充実
施策・事業名	家庭児童相談室の充実
施策・事業概要の今後の方	子育て支援課内に家庭児童相談室を設置し、相談員が子どもと家庭に関する相談に応じえています。 相談件数が急増し、内容も複雑化・深刻化している現状を踏まえ、相談員の研修の機会を確保するとともに、関係機関との連携の強化を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：家庭児童相談室における相談件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12,800	15,200	18,000	21,400	25,500
		実績値	14,098	13,858	11,103	10,314	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	子どもの見守りネットワークの調整機関として要保護児童対策地域協議会との連携を図り、児童虐待の未然防止、早期発見及び発生予防に取り組みました。 個別ケース会議などは必要性を考え、感染予防に努め、会議を開催しました。				
	改善（A）	B	【令和6年度における取り組みなど】 児童福祉法等の一部を改正する法律が成立し、令和6年4月から施行されたことにより、「泉佐野市こどもを守る児童虐待防止マニュアル（第七版）」を改訂予定です。 家庭児童相談室の相談件数が減少傾向に転じましたが、相談内容についても不安を抱える保護者や特定妊婦の対応など複雑多様化しています。 引き続き相談員のスキルアップ向上のため、外部のスーパーバイザーを導入するなど、相談員の研修機会を確保するとともに、各関係機関との緊密な連携強化に努めます。				

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標	相談・情報提供体制の充実				
施策の方向	相談・情報提供体制の充実				
施策・事業名	母子・父子自立支援員による相談支援体制の充実				
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭及び寡婦の様々な悩みや相談に応じるため、母子・父子自立支援員を配置しています。 複雑多岐にわたる相談に対応できるように支援員の資質向上を図り、相談者の利用促進のため広報を推進します。				

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：相談件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	400	400	400	400	400	
		実績値	419	453	405	324		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】				
				担当課 評価	研修会に参加する等、母子・父子自立支援員の資質の向上を図るとともに、相談内容に応じて関係機関との情報交換や連携を図り、ひとり親家庭等の自立に向けた支援を行いました。 前年度に比べ相談件数が減少し、計画値を下回りました。 （参考：令和元年度 相談件数404件）			
				C				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】						
		支援員の資質の向上を図るとともに、ひとり親家庭等の悩みや相談に応じ、適切な支援につなげていけるように努めます。						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

いずみさの子ども未来総合計画
(泉佐野市子どもの貧困対策計画)
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 5 年度分		担当課	教育総務課				
基本目標		教育の支援					
施策の方向		教育の支援					
施策・事業名		市費負担教員の配置					
施策・事業概要の方向		小学校6年生まで35人学級編成ができるように、また、小学校1年生から中学校3年生までにおいて支援学級入級児童を含む通常学級学習者が45人以上となる学年に1名、市単費で教員を配置しています。児童一人ひとりにきめ細やかな支援ができ、安心安全な学校となるよう事業を展開します。また、体力向上や中学校では生徒指導機能充実や小・中連携促進のための人的配置を行い、総合的に学校を支援します。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：全国学力・学習状況調査の結果 小学校平均（全国平均との差）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	-6	-5	-4	-3	-2
		実績値	コロナ禍で実施無	国：-4.7 算：-2.2	国：-3.6 算：-2.2	国：-5.2 算：-3.5	
		②指標：全国体力・運動能力調査の結果 5年生					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	全国平均（コロナでデータ無）	全国平均 男：52.52 女：54.64	全国平均 男：52.29 女：54.32	全国平均 男：52.59 女：54.28	
		実績値	男58.43 女：66.29	男：50.62 女：53.09	男：51.49 女：53.40	男：50.97 女：53.04	
		③指標：児童（小6）生徒（中1）アンケート①「学校に行くのが楽しい」②「授業が良くなる」の強い肯定的結果					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	50%以上	55%以上	60%以上	65%以上	70%以上
		実績値	①小48.8% 中63.1% ②小55.0% 中52.7%	①小57.5% 中52.9% ②小62.8% 中40.2%	①小59.4% 中42.1% ②小58.8% 中33.9%	①小60.7% 中48.7% ②小59.7% 中33.6%	
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課評価	・基礎学力の定着についてはコロナ禍を経験する中で、協働的な学習環境の醸成や一人ひとりの学びの促進など様々な課題が見えてくる中、全学年35人学級を実施していた事で、児童一人ひとりに対し、丁寧できめ細かな対応をすることができました。全国学力・学習状況調査については国語で課題がみられるものの算数についてはほぼ数値目標を達成しており、本事業の効果がみられると考えられます。 ・体育推進事業についてはコロナ禍により体育時の種目や種別、外遊びに制約が生じ子どもたちの運動不足、基礎体力の低下が危惧される中、体力テストの結果について数値目標を達成することはできませんでしたが、前年度に比べて大きな減退は見られず、市として取組みを維持することができたと判断できます。 ・学校生活の満足度に関する児童生徒の意識についてはアフターコロナに入り、教職員が工夫を凝らして学校運営を復活継続させ様々な取り組みを継続しましたが、顕著な向上は見られないものの全体として子どもたちの評価を維持させることができていると、本事業の意義を見出すことができました。				
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		・令和6年度は国定数で小学校5年生までが35人学級になります。市としてはより一層、きめ細かに取り組みを進めるため、小学校において支援学級在籍児童を含む通常学級学習者40人を超える学年に市費で講師を配置し、授業以外の日常生活においても、一人ひとりと丁寧に関わり、家庭との連携を強化し、各学校で引き続き組織的に対応することで基礎学力向上に向けて取り組みをすすめます。 ・体育推進事業については外部人材や大阪体育大学と連携し、体力向上に向けたプログラムを推進します。毎朝のUPタイムや放課後スポーツ教室、大学との連携した体験教室など独自の取組を推進するとともに、積極的な外遊びや体育系行事、校外学習の機会を通じて児童の基礎体力、運動能力の向上をめざします。 ・学校生活については小中一貫教育をより推進し、満足度向上の取組みもすすめます。学校行事や課外活動など、子どもたちの学びや成長、仲間づくりに必要な行事を精選しながらもICTを有効に活用して「協働的な学び」と「個別最適な学び」を充実させ子どもたちの学校生活への意欲と主体性を喚起します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課					
基本目標	教育の支援							
施策の方向	教育の支援							
施策・事業名	学校給食事業							
施策・事業概要の方向	生活保護世帯及び保護に準ずる低所得世帯は、それぞれ生活保護の教育扶助制度、就学援助制度により給食費負担分の全額給付を行っています。また、市の単独事業で就学援助制度における所得基準額を緩和する等、給食費が無償となる世帯の範囲を広げ、低所得世帯への支援だけでなく、子育て世帯の負担軽減につなげます。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立小中学校に就学している児童生徒の保護者に対して、必要な費用の援助を行いました。 ただし、令和2年度～令和5年度は給食費全員無償化を実施しました。 （就学援助申請者数：1,790名 就学援助認定者数：1,677名）			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 就学援助制度の周知に努め、さらなる給食費無償となる範囲を広げていきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標		教育の支援						
施策の方向		教育の支援						
施策・事業名		教育支援事業の充実						
施策・事業概要の今後の方		教育支援センターのスタッフやメンタルフレンドが児童・生徒の活動を支援し、体験活動を効果的に取り入れるなど、社会的自立に向けて様々な経験を積めるような事業を展開します。 また、個別に支援が必要な児童に対しても、居場所をつくり、適切な支援を行います。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 児童・生徒それぞれの課題に対して、教育支援センターのスタッフやメンタルフレンド、不登校支援員が個に応じた支援を行い、不登校の児童生徒のこころの居場所づくりができました。 行事や体験活動も充実し、教育支援センターの入室生が様々な経験を積むことができました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 教育支援センタースタッフやメンタルフレンド、不登校支援員が、入室生に寄り添って活動し、こころの居場所づくりを推進します。 学校と教育支援センターとの連携を密にして、学校生活に戻っていけるように支援します。 家庭とも連携し、入室生の生活のリズムを整え、社会的自立ができるように支援します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課					
基本目標		教育の支援						
施策の方向		教育の支援						
施策・事業名		まなびんぐサポート事業						
施策・事業の概要・今後の方向		本市の未来を担う子どもたちへの様々な人材育成事業を行うことで、低所得世帯への支援だけでなく、子育て世帯への支援につなげています。 (放課後学習室)子どもたちの学力や学習意欲の向上をめざして、学習支援ボランティア(退職教員、大学生、地域人材)を小・中学校へ派遣し、放課後の時間に子どもたちの学習支援を行います。 (学習サポーター)授業でのつまづきに対し、個々の子どもに合った学習支援を行うため、算数科における授業サポートとして、小学校へ学習支援ボランティア(退職教員、大学生、地域人材)を配置します。						
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価(C)	【令和5年度評価】				
				担当課評価	放課後学習は、市内18小中学校すべてで行い、全開催日数は500日、参加延べ人数は10259人になりました。学習サポーターは、4小学校に対し、計10名で年間合計2460時間の支援を行いました。			
			改善(A)	【令和6年度における取り組みなど】 放課後学習については、引き続き市内全18校で実施します。学習サポーターも、4小学校に派遣します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本の見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課			
基本目標	教育の支援					
施策の方向	教育の支援					
施策・事業名	介助（通訳派遣）事業					
施策・事業概要・今後の方向	障がいのある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒へ介助員（手話通訳者、外国語通訳者等含む）を派遣し、一人ひとりの在籍状況に応じた支援を行い、学習保障、進路保障に努めています。また、医療的ケアが必要な児童生徒へ看護師を派遣し、校内で医療的ケアを行うことで、保護者の就労保障につなげます。					

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
	計画値						
	実績値						
	令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度は海外から9名の児童生徒の編入（小学校5件、中学校4件）がありました。日本語の習得状況が乏しい外国籍児童等に対し、外国語通訳者を配置することによって、学校生活や授業面での支援活動を充実させることができました。			
			B				
		改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も海外からの編入の増加が予想されます。編入の児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、外国語通訳者の配置を適切にすすめていきます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課			
基本目標	教育の支援					
施策の方向	教育の支援					
施策・事業名	進路指導の充実					
施策・事業概要の今後の方	生徒が幅広く進路選択できるよう、入試制度の情報提供や個々の生徒のもつ能力や適性など一人ひとりの良さを踏まえた進路指導を行っています。また、保護者からの相談に応じたり奨学金制度の情報提供や説明会を実施し、経済的理由が子どもたちの進路選択の妨げにならないよう支援します。					

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 学校教職員に対して、年2回、進路保障連絡会を開催し、入試制度の情報提供を行いました。 また、保護者には、各中学校において市教委主催の奨学金説明会開催や、リーフレットの全中学校家庭への配布により、家庭の経済状況により進路選択の幅が狭くならないように支援を行いました。相談窓口を設置し、広く進路や奨学金等の問い合わせに対応しました。 相談件数 38件 リーフレット配布回数 年3回				
				B					
				【令和6年度における取り組みなど】 引き続き、市内5中学校において市教委主催の奨学金説明会を実施するとともに、リーフレットを全中学校生徒に配布し、懇談時や府育英会申請時等の活用を促します。また、市内小学校にも数部配布し、早い段階から展望ある進路選択ができる意識を持てるように支援していきます。					
		令和5年度	改善（A）						

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	学校教育課・子育て支援課
----------	-----	--------------

基本目標	生活の安定に資するための支援
施策の方向	生活の安定に資するための支援
施策・事業名	学校・園における相談体制の充実
施策・事業の概要・今後の方向	学校においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門的な相談員による相談事業を実施し、子どもたちや保護者が心の悩みを気軽に相談できる機会の充実に努めます。いじめ、不登校などの悩みに関する相談に応じ、その解消を図るため、教育支援教室、教育相談などの事業の充実に努めます。 幼稚園・認定こども園・保育園においては、子育て支援として実施している園庭開放や遊びの教室などの際に、子育てに関する悩みや相談に応じ、負担感の解消に引き続き努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：こども園（公立）の子育て支援事業における相談件数（件／年） （計画値：平成29年度から令和元年度の平均値）				
			2年度	3年度	4年度	5年度
		計画値	172	163	154	146
		実績値	46	22	59	87
		②指標：				
			2年度	3年度	4年度	5年度
		計画値				
		実績値				
		③指標：				
			2年度	3年度	4年度	5年度
		計画値				
		実績値				

令和5年度	評価 (C)	【令和5年度評価】	
		担当課 評価	(学校教育課) 心理の専門家であるスクールカウンセラーだけでなく、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを各中学校区に配置することにより、子どもはもちろん、保護者の様々なニーズにも対応した相談が可能になっている。
		(学校教育課) B	(子育て支援課) 地域における子育て支援として実施している園庭開放や遊びの教室などの際に、子育てに関する悩みや相談に応じ、負担感の解消に努めました。
		(子育て支援課) C	件数が多かった相談内容は、入園・入所に関すること(15件)、食事(離乳食)に関すること(14件)でした。 前年度と比べると相談件数は増加しているものの、計画値は下回りました。
改善 (A)	【令和6年度における取り組みなど】		
	(学校教育課) スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを中学校区に配置し、小中学校を巡回することにより児童・生徒及び保護者が相談しやすい体制を引き続きつくります。教職員とSC・SSW等の専門家がより連携し、いじめ、不登校、児童虐待等の問題の未然防止や重篤化防止、早期発見・早期解決に努めます。 (子育て支援課) 園庭開放や遊びの教室などの子育て支援事業を通じて、子育てに関する悩みや相談に応じ、子育て世帯の負担感の解消に努めます。		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課（令和6年度よりこども家庭課）
----------	-----	-----------------------

基本目標	生活の安定に資するための支援
施策の方向	生活の安定に資するための支援
施策・事業名	家庭児童相談室の充実
施策・事業の概要・今後の方向	子育て支援課内に家庭児童相談室を設置し、相談員が子どもと家庭に関する相談に応じています。 相談件数が急増し、内容も複雑化・深刻化している現状を踏まえ、相談員の研修の機会を確保するとともに、関係機関との連携の強化を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：家庭児童相談室における相談件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	12,800	15,200	18,000	21,400	25,500
		実績値	14,098	13,858	11,103	10,314	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	【令和5年度評価】					
		担当課 評価	子どもの見守りネットワークの調整機関として要保護児童対策地域協議会との連携を図り、児童虐待の未然防止、早期発見及び発生予防に取り組みました。 個別ケース会議などは必要性を考え、感染予防に努め、会議を開催しました。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】					
		児童福祉法等の一部を改正する法律が成立し、令和6年4月から施行されたことにより、「泉佐野市こどもを守る児童虐待防止マニュアル（第七版）」を改訂予定です。 家庭児童相談室の相談件数が減少傾向に転じましたが、相談内容についても不安を抱える保護者や特定妊婦の対応など複雑多様化しています。 引き続き相談員のスキルアップ向上のため、外部のスーパーバイザーを導入するなど、相談員の研修機会を確保するとともに、各関係機関との緊密な連携強化に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標	生活の安定に資するための支援							
施策の方向	生活の安定に資するための支援							
施策・事業名	子どもの居場所づくり事業（こども食堂）							
施策・事業概要の方向	子どもが安心して過ごすことのできる居場所を提供し、食事の提供や学習支援等を行い、子どもに対する効果的な支援につなげます。 また、こども食堂ネットワークにより、こども食堂同士の連携を深め、市内の子どもの居場所づくりを推進します。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：参加児童数（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	750	800	800	850	850	
		実績値	151	224	618	1067		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 ひとり親世帯や生活困窮世帯など、経済的な課題や生活環境に課題のある子どもを中心に、気軽に立ち寄れる子どもの居場所をつくり、食事の提供や学習支援を行いました。 コロナ禍からの脱却により取組を進めやすい状況となり、参加者数は前年度を大きく上回りました。 （参考：令和元年度実績値 参加児童数741人） こども食堂に取り組む団体のネットワーク化を進め、市内のこどもの居場所づくりを推進しました。 （参考：泉佐野市こども食堂ネットワーク登録団体 11団体） 家庭の事情で朝食を食べずに登校する児童へ食事を提供することにより子どもの学習や成長を支えることを目的とした「こども朝食堂」を7ヶ所の小学校（長坂小・中央小・北中小・末広小・日新小・第三小・佐野台小）で実施しました。			
				A				
		令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 ネグレクト傾向等、生活環境に課題のある子どもを対象にしながら、気軽に立ち寄れる子どもの居場所をつくり、食事の提供や学習支援を行うとともに、学校をはじめ関係機関と連携した支援に努め、児童虐待の未然防止や早期支援に繋げていきます。 「こども朝食堂」については、新たに4ヶ所の小学校（第一小・第二小・上之郷小・長南小）で実施します。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	地域共生推進課						
基本目標	生活の安定に資するための支援								
施策の方向	生活の安定に資するための支援								
施策・事業名	生活困窮者自立支援事業								
施策・事業の概要・今後の方向	生活困窮者自立支援法に基づき、社会福祉法人泉佐野市社会福祉協議会に「基幹包括支援センターいずみさの」、生活圏域5圏域に「地域型包括支援センター」を設置し、貧困、障害、家族の問題等、複合多問題を抱えた生活困窮者の自立支援のため相談支援事業等を実施しています。また、既存の各種制度・事業の活用や新たな任意事業の検討を行い、泉佐野市要保護児童対策地域協議会をはじめ関係各機関と連携しながら、対象者が生活困窮状態から脱却できるまで伴走型の支援を行っていきます。								
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 身近な相談窓口である全世代型・全対象型（介護や仕事、子育て、障害のことなど）の地域型包括支援センターを設置することにより、日々の不安や家族関係の変化から生活困窮状態であることが把握できる機会が増え、早期発見・早期対応につながられています。支援にあたっては、関係各課との連携が速やかに行えるよう担当課として支援を行っています。（生活困窮者新規相談受付件数 令和5年度：225件／年間）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 引き続き、支援が必要な方が速やかに必要な支援を得られるよう、関係課相互の関係構築に努め、要支援者の生活の安定に資するための支援を行います。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

地域共生推進課（令和6年度よりこども家庭課）

基本目標	生活の安定に資するための支援
施策の方向	生活の安定に資するための支援
施策・事業名	利用者支援事業
施策・事業の概要・今後の方向	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談に応じています。 今後は、より身近な場所である生活圏域（中学校区）での子育て等の悩みを相談できる窓口を設置し、関係機関との連絡調整、連携、協働の体制づくり等を推進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：利用者支援事業実施箇所数（か所）※子ども・子育て支援事業計画					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	6	6	6	6	6
		実績値	6	6	6	6	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談に応じています。 令和2年度上半期よりお住まいの地域の包括支援センターにおいて、子育てに関する相談等の悩みを相談できる窓口を設置し、関係機関との連絡調整、連携、協働を行っています。				
		B					
			【令和6年度における取り組みなど】 関係機関との連絡調整、連携、協働を行い、妊娠・出産・子育てに関する必要な情報の提供・各種相談などの適切な支援に努めます。				
	改善（A）						

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援				
施策の方向	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援				
施策・事業名	母子家庭自立支援教育訓練給付金及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業				
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭の父または母が就職に向けて市の指定する講座を受講した場合に受講料の一部を給付します。 対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。				

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	5	5	5	5	5
		実績値	3	7	2	5	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 制度の周知を図り、対象者に対し、就職やスキルアップのための講座の受講料を一部給付することで、ひとり親家庭の就労支援を行いました。 （参考：令和元年度 給付件数5件）				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援				
施策の方向	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援				
施策・事業名	母子家庭高等職業訓練促進給付金等及び父子家庭高等職業訓練促進給付金等事業				
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭の父または母が経済的自立に効果的な資格を取得するために養成機関で就学する場合に、生活費の負担軽減の給付を行い、就業と修学の両立を支援します。対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。				

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	12	13	14	15	16	
		実績値	17	20	15	12		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 事業内容の周知を図り、生活相談を受ける等しながら、養成機関等で修学する者に給付することで、経済的自立へ向けての支援ができました。 （参考：令和元年度 給付金支給件数16件 修了一時金3件）			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援						
施策の方向	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援						
施策・事業名	母子・父子自立支援プログラム策定事業						
施策・事業概要の方向	転職や就労を希望するひとり親家庭の父または母を対象に個々に応じた目標や支援計画（プログラム）を策定し、ハローワークと連携しながら、ニーズに応じた、よりきめ細やかで継続的な就労支援を行います。 対象者への周知を図り、制度の活用を促進します。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：プログラム策定件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	16	17	18	19	20
		実績値	16	14	11	2	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 転職や就労を希望するひとり親家庭の父または母を対象に個々に応じた目標や支援計画（プログラム）を策定し、ハローワークと連携しながら、ニーズに応じたきめ細やかで継続的な就労支援を行いました。 前年度に比べ計画策定件数が減少し、目標値を大幅に下回りました。 （参考：令和元年度 策定件数12件）				
		D					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 児童扶養手当の現況届受付時に事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援								
施策の方向	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援								
施策・事業名	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援								
施策・事業概要・今後の方向	よりよい条件での転職や就労を希望するひとり親家庭の親や子どもに対して、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座の受講料の一部を支給し、安定した就労に向けた支援をします。								
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：給付件数（件／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	1	1	1	1	1		
		実績値	0	0	0	0			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 制度の周知に努めましたが、対象となる申請者がいませんでした。				
				C					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 児童扶養手当の現況届受付時に事業内容の周知を図り、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		まちの活性課				
基本目標	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援							
施策の方向	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援							
施策・事業名	地域就労支援事業							
施策・事業概要の方向	就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応しています。 また、バウチャー（資格取得支援）事業の実施、合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。							
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：就労相談件数（件／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	338	354	370	385	396	
		実績値	73	94	108	159		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 市内3カ所の地域就労支援センターにおいて、のべ159件の就労相談を受け、13名の新規就労に繋がりました。バウチャー（資格取得支援）事業については5名から相談があり、3名を助成して資格取得に繋がりました。			
				C				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 就労支援センターにコーディネーターを配置し、就職困難者の相談に対応します。併せて、就労支援コーディネーターの資格を持っていない職員は取得すべく講座を受講します。 また、バウチャー（資格取得支援）事業に関して受講メニューを増やしつつ、就職困難者の就労支援に取り組みます。その他合同就職面接会を開催、就労相談の実施など就労に向けての取り組みを行います。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	生活福祉課				
基本目標		保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援					
施策の方向		保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援					
施策・事業名		生活保護受給者等就労自立促進事業					
施策・事業の概要・今後の方向		生活保護受給者、児童扶養手当受給者、住宅確保給付金受給者及び生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業による支援を受けている生活困窮者等を対象として職業安定所施設内での就労支援を実施するほか、市役所での巡回相談の実施などワンストップ型の支援体制を整備し、生活保護受給者等について、職業安定所と市が一体となったきめ細やかな就労支援を維持することにより、生活保護受給者等の就労による自立を促進します。					
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：ハローワーク自立支援事業支援者数（件/年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値		29	29	29	
		実績値		39	40	19	
		②指標：ハローワーク自立支援事業就職者数（件/年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値		19	19	19	
		実績値		24	23	21	
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 担当ケースワーカーと支援員が適宜連携をとって世帯の状況を把握。その上で要支援者との対話を重ねて信頼関係を構築し、個々の就労阻害要因を的確に把握した上で具体的な支援方法を要支援者と共に考えきめ細やかな助言、指導等を実施しました。 結果、令和5年度ハローワーク自立支援事業において支援対象者実績数は目標の29人に対して実績19人、就職者実績数は目標19人に対して実績21人であり、就職者実績数は目標人数を上回る結果となりました。なお、就職者数は全て生活保護受給者となり、生活保護受給者を除く生活困窮者は0人でした。				
		B					
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 生活保護受給者における要支援者の多くは学歴・職歴・免許資格もなく、離職、転職を繰り返す者や傷病・障害を持っているなど様々な就労阻害要因を抱える就労困難者です。労働市場が回復傾向にある中、ケースワーカーとの連携は勿論のこと、健康管理支援員とも連携して就労意欲の向上を図るべく継続して支援していきます。また就労可能な生活保護受給者を再度洗い出し、支援者数の増加を図ります。今後とも就労支援を通じて様々な阻害要因を一つ一つ克服し、経済的自立・日常生活自立・社会生活自立のために「自立できる就労」を目指します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課			
基本目標		経済的支援					
施策の方向		経済的支援					
施策・事業名		児童手当支給事業					
施策・事業概要・今後の方向		子育て家庭における生活の安定と児童の健全な育成を図るため、児童を養育する人に手当を支給する事業です。 制度の周知を徹底し、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。					
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	7,000	6,900	6,800	6,700	6,600
		実績値	6,826	6,687	6,378	6,250	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	児童手当及び特例給付の受給に際しては申請が必要となりますが、市民課の協力による出生届受理時の案内や担当課の住基情報を用いた確認作業により、対象となる方に適切に支給できました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年10月から制度改正があり、対象児童が拡充するため、受給者数が増加する見込みです。主な制度改正の内容としては、①所得制限の撤廃、②支給対象児童を高校生年代まで延長、③多子加算額の変更および多子加算方法の見直し、④支払月を年3回から年6回に変更となります。今後も家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	経済的支援	
施策の方向	経済的支援	
施策・事業名	児童扶養手当支給事業	
施策・事業概要・今後の方向	父母の離婚などによりひとり親家庭となった場合に児童を監護・養護している親等に手当を支給します。 対象者が適切に手当を受給できるよう制度を周知し、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進します。	
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：受給者数（件）
令和5年度	評価（C） 改善（A）	②指標：
		令和5年度
令和5年度	評価（C） 改善（A）	
		担当課 評価 B
		制度を周知することで、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進しました。 （参考：令和元年度 受給者数897人）
令和5年度	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】
		令和6年11月から制度改正があり、所得制限額及び第3子以降加算額が変更となるため受給者が増加する見込みです。 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担軽減の為制度の周知に努め、対象者が適切に手当を受給できるように事業運営を行います。

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分

担当課

子育て支援課

基本目標	経済的支援
施策の方向	経済的支援
施策・事業名	こども医療費助成事業
施策・事業の概要・今後の方向	中学校卒業年度末までの子どもの医療費を助成することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを行います。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値	150,800	152,300	152,300	152,300	152,300
		実績値	117,526	129,124	134,709	153,553	
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 令和4年10月より助成対象を18歳年度末までに拡大し、制度の充実を図りました。 対象者の医療費を一部助成することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図るとともに、生活の安定と児童の健全な育成に寄与することができました。 （参考：令和元年度実績値 助成対象件数150,755件）				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 子育て家庭の経済的負担の軽減と児童の健全育成を図るため、制度の周知に努めます。					

A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。

C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	経済的支援								
施策の方向	経済的支援								
施策・事業名	ひとり親家庭医療費助成事業								
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭に対し医療費の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図り、健康の保持と生活の安定を促進します。								
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：助成対象件数（件／年）							
		計画値：過去実績伸び率ベース							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	28,600	28,900	28,900	28,900	28,900		
		実績値	25,043	27,034	26,734	25,864			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 ひとり親家庭の医療費の一部を助成することにより、受診を容易にし、ひとり親家庭の健康保持や生活の安定が図られました。 （参考：令和元年度実績値 助成対象件数28,348件）				
				C					
改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 令和6年11月の児童扶養手当の所得制限緩和に伴い、ひとり親家庭医療費助成事業においても受給者数の増加が見込まれます。								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	経済的支援	
施策の方向	経済的支援	
施策・事業名	大阪府母子・父子・寡婦福祉資金貸付金事業	
施策・事業概要・今後の方向	ひとり親家庭及び寡婦からの個別相談に応じ、子どもの就学や親の技能習得などに要する資金の貸付手続きを行い、経済的自立を支援します。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：申請件数（件／年）							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値	17	17	17	17	17		
		実績値	22	7	9	3			
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 日本学生支援機構の奨学金新制度が授業料減免と給付型奨学金のセットで申請できることになり、貸付事業としての申請件数は減少しました。 （参考：令和元年度 申請件数12件）				
				D					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 ひとり親家庭及び寡婦からの個別相談に応じ、子どもの就学や親の技能習得などに要する資金の貸付手続きを行い、経済的自立を支援するよう努めます。 制度変更に伴い、目標値を見直す必要があります。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課	
基本目標		経済的支援			
施策の方向		経済的支援			
施策・事業名		小・中学校の就学援助			
施策・事業概要・今後の方向		経済的な理由で公立小・中学校の就学が困難な家庭に、学用品費・通学用品費・学校給食費など学習に必要な費用の一部を援助します。			

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立小中学校に就学している児童生徒の保護者に対して、必要な費用の援助を行いました。 令和2年度からオンライン学習通信費を新たな援助項目に追加し、援助の拡大を行いました。 令和4年度より、就学援助の基準額を令和4年4月1日現在の生活保護基準額の1.5倍から2.0倍へ変更を行いました。 （申請者数：1,790名 認定者数：1,677名）				
				B					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 オンライン学習通信費の援助対象を個人から世帯に変更し、より分かりやすい就学援助制度の周知に努めます。さらに令和6年度より、従来の書面申請に加え、オンライン申請の受付を開始します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		学校教育課				
基本目標		経済的支援						
施策の方向		経済的支援						
施策・事業名		貸付型奨学金						
施策・事業概要の方向		「貸付型奨学金」制度は、経済的な理由で子どもたちが進学をあきらめたり、学校をやめたりすることがないように、国や大阪府の奨学金制度を補う市独自の施策です。一人でも多くの子どもたちが安心して勉学に励むことができるよう支援します。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	令和5年度は当初の募集で高校生2人、大学生6人の申請があり、経済的理由により進学等が困難となる学生に支援を行うことができました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】				
貸付型奨学金制度については、引き続きホームページ等でも周知を行い、より多くの学生への支援制度を行います。								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課				
基本目標		経済的支援						
施策の方向		経済的支援						
施策・事業名		私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金事業						
施策・事業概要・今後の方向		「幼児教育・保育の無償化」に伴い、経済的負担が増加する世帯に対して負担増額分に見合う金額を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図ります。						
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：対象者数（人／年）						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値	26	20	20	20	20	
		実績値	12	16	16	13		
		②指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		③指標：						
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		計画値						
		実績値						
		令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯並びに申請児童が第3子以降の世帯の補助条件を満たした世帯に対して、入園料等の負担軽減を図るため「私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金」として、令和5年度は対象者13人に対して630,000円支給しました。			
				B				
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 対象保護者の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金の周知に努めます。				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課		子育て支援課	
基本目標		経済的支援			
施策の方向		経済的支援			
施策・事業名		給食費無償化事業			
施策・事業概要・今後の方向		市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている方については市の独自事業として給食費を徴収せず、保護者の経済的負担の軽減を図ります。			

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 公立・私立認定こども園、私立幼稚園、私立保育園に通う市内在住のすべての3歳児以上に対し、市単独事業として実施しました。				
		A					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 市内在住の方で、市内の幼稚園・認定こども園・保育園に通園されている園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続します。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	学校教育課			
基本目標	経済的支援					
施策の方向	経済的支援					
施策・事業名	留守家庭児童会会費減免措置					
施策・事業概要・今後の方向	共働き家庭やひとり親家庭の増加など、放課後における児童の安全な居場所づくりのため、留守家庭児童会を開設しています（会費制）。会費減免制度により保護者世帯の経済的負担を考慮する等、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子育て世帯の負担軽減につなげます。					

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		②指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
		③指標：					
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		計画値					
		実績値					
令和5年度	評価（C）	担当課評価	【令和5年度評価】 被保護世帯及び今年度非課税世帯の会費の1/2を免除。兄弟姉妹での入会世帯の2人目以降、会費の1,000円を免除を実施し、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子育て世帯の負担軽減につなげました。				
		B					
	改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 昨年度に引き続き、児童の安全な居場所を提供し、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子育て世帯の負担軽減につなげます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 5 年度分		担当課	子育て支援課						
基本目標	経済的支援								
施策の方向	経済的支援								
施策・事業名	保育料の軽減措置								
施策・事業概要・今後の方向	国の基準に準じ年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置、保護者の寡婦（夫）控除のみなし適用を実施し、経済的負担の軽減を図ります。								
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		②指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		③指標：							
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
		計画値							
		実績値							
		令和5年度	評価（C）	担当課 評価	【令和5年度評価】 国の基準に準じ、年収360万円未満相当の多子世帯の保育料の軽減措置及びひとり親世帯の負担軽減措置を実施しました。 また、事業の継続に加え、令和5年4月からは第2子の保育料を現行の国基準の半額から市独自政策として無償にすることにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。				
				A					
			改善（A）	【令和6年度における取り組みなど】 今後も国等の動向を見て、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るよう努めます。					

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。